
会 告 ・ 通 知

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

————— 平成 24 年 6 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内 (平成 24 年 6 月 1 日～7 月 1 日)	2
◇第二種研究会開催案内.....	23
◇2012 年ソサイエティ大会開催案内.....	26
◇FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内	27
◇支部大会	
・平成 24 年度電気関係学会東海支部連合大会	28
・平成 24 年度 (第 65 回) 電気関係学会九州支部連合大会.....	28
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 電気四学会関西支部専門講習会「ポスト地上デジタル放送」.....	29
・エレクトロニクスシミュレーション講習会 「差分法による光導波路解析入門——ビーム伝搬法と有限差分時間領域法——」	29
・本会が協賛等のもの.....	30
◇国際会議.....	31
◇受賞候補者募集等	
・平成 24 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙, ほか.....	32
◇求人欄.....	34
◇お知らせ	
・転勤・引越しの届出について.....	36
・平成 23 年度「子供の科学教室基金」募金活動報告	36
・平成 24 年 6 月号及び 7 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	36
◇論文特集号原稿募集	
・周波数発生・制御デバイスの新展開特集号 (和文論文誌 A)	37
・先端半導体デバイスの基礎と応用小特集号 (英文論文誌 C)	37
・エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集号 (和文論文誌 C)	38
・アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する小特集号 (英文論文誌 C)	39
・「画像の認識・理解」特集号 (和文論文誌 D)	39
・リコンフィギャラブルシステム小特集号 (英文論文誌 D)	40
◇IEICE Electronics Express 投稿案内	42
♡複製される方へ.....	31
♡各種証明, 閲覧の手数料について.....	36
♡新刊案内	
[Excel で学ぶ組込みシステム要素技術]	25
[光波工学の基礎]	41
♡総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について.....	35

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 6 月 1 日～7 月 1 日

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
信 頼 性	15 日(金)	13 : 15～15 : 10	機械振興会館	6
超 音 波	21 日(木)	14 : 00～16 : 45	東京大学・生産技術研究所	6
思 考 と 言 語	23 日(土)	10 : 30～16 : 45	早稲田大学	10
スマートインフォメディアシステム	14 日(木)	10 : 30～17 : 00	帯広市とかちプラザ	13
	15 日(金)	10 : 00～11 : 20		
応 用 音 響	8 日(金)	9 : 30～16 : 00	ヤマハ・本社	19
今後の予定；非線形問題 (23 ページ)				
6 月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，非線形問題，VLSI 設計技術，情報セキュリティ，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，技術と社会・倫理，安全性，ITS，イメージ・メディア・クオリティ				

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
ア ン テ ナ ・ 伝 播	14 日(木)	13 : 00～16 : 50	機械振興会館	5
インターネットアーキテクチャ 情報通信システムセキュリティ	21 日(木)	14 : 00～16 : 55	東海大学・高輪キャンパス	7
	22 日(金)	9 : 00～12 : 15		
宇宙・航行エレクトロニクス	28 日(木)	10 : 45～17 : 40	宇宙航空研究開発機構・筑波宇宙センター	11
	29 日(金)	10 : 45～16 : 35		
情 報 ネットワーク	21 日(木)	13 : 30～16 : 30	函館市民会館	14
	22 日(金)	12 : 30～14 : 10		
無 線 通 信 シ ス テ ム	21 日(木)	10 : 00～17 : 45	函館市中央図書館	14
	22 日(金)	9 : 50～16 : 40		
ネットワークシステム 光通信システム フォトニックネットワーク	21 日(木)	9 : 00～18 : 00	山形大学・米沢キャンパス	17
	22 日(金)	9 : 00～18 : 15		
環 境 電 磁 工 学	22 日(金)	10 : 00～17 : 00	大阪大学・吹田キャンパス	22
6 月休会の研究会；衛星通信，通信方式，電子通信エネルギー技術，コミュニケーションクオリティ，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，モバイルマルチメディア通信，ソフトウェア無線，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
エレクトロニクスシミュレーション	1 日(金)	11 : 00～17 : 00	青山学院大学・青山キャンパス	4
機 構 デ バ イ ス 電 子 部 品 ・ 材 料 有 機 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	22 日(金)	9 : 25～17 : 50	機械振興会館	8
磁気記録・情報ストレージ	14 日(木)	13 : 30～17 : 00	東北大学・電気通信研究所	17
	15 日(金)	9 : 30～12 : 00		
シリコン材料・デバイス	21 日(木)	9 : 00～18 : 00	名古屋大学・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	20
マ イ ク ロ 波	29 日(金)	11 : 00～16 : 45	岐阜大学・工学部	21
エレクトロニクス材料デバイスサマーミーティング (8 ページ)				
6 月休会の研究会；超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電子デバイス，電磁界理論，集積回路，マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
データ工学	5日(火) 6日(水)	13:00~18:00 10:00~16:10	国立情報学研究所	4
サービスコンピューティング	11日(月)	13:00~17:10	国立情報学研究所	5
音声	14日(木) 15日(金)	11:00~17:30 10:30~17:45	NTT・厚木研究開発センタ	5
人工知能と知識処理	21日(木)	13:00~17:45	京都大学・東京オフィス	7
情報通信システムセキュリティ インターネットアーキテクチャ	21日(木) 22日(金)	14:00~16:55 9:00~12:15	東海大学・高輪キャンパス	7
ディペンダブルコンピューティング	22日(金)	13:00~17:00	機械振興会館	9
クラウドネットワークロボット	25日(月)	13:00~16:45	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	10
言語理解とコミュニケーション パターン認識・メディア理解	29日(金)	9:00~17:30	早稲田大学・西早稲田キャンパス	12
コンピューテーション	21日(木)	9:30~17:35	北海道大学・工学部	13
MEとバイオサイバネティクス	22日(金)	9:30~17:15	北海道大学・情報科学研究科	16
教育工学	23日(土)	12:55~17:15	名古屋大学・IB電子情報館	21
情報論的学習理論と機械学習	19日(火) 20日(水)	(未定)	京都キャンパスプラザ	22
ニューロコンピューティング	28日(木) 29日(金)	9:20~18:10 9:20~14:15	沖縄科学技術大学院大学	22
6月休会の研究会；ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，画像工学，コンピュータシステム，ソフトウェアサイエンス，知能ソフトウェア工学，医用画像，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコンフィギャラブルシステム，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
マルチメディア・仮想環境基礎	26日(火) 27日(水)	10:45~16:50 10:00~16:15	東京大学・本郷キャンパス・山上会館	10
ヒューマン情報処理	30日(土) 7月1日(日)	13:00~17:00 10:15~16:10	室蘭工業大学	16
6月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

第4回超高速光エレクトロニクス研究会	6月8日(金)	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	23
第48回機能集積情報システム研究会	6月8日(金)	関西大学・千里山キャンパス	24
平成24年度第1回医療情報通信技術研究会	6月13日(水)	東京工業大学・大岡山キャンパス	24
短距離無線通信研究会(SRW)	6月18日(月)	東北大学・東京分室	24
次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会主催研究会	6月22日(金)	機械振興会館	25

★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田随道

副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明

幹事 平田晃正・大貫進一郎 幹事補佐 平野拓一・陳 春平

日時 6月1日(金) 11:00~17:00

会場 青山学院大学青山キャンパス総研ビル9階(渋谷区渋谷4-4-25. JR山手線, 埼京線, 東急線, 京王井の頭線, 東京メトロ副都心線: 渋谷駅より徒歩約10分. 東京メトロ: 表参道駅B1出口より徒歩約5分. <http://www.aoyama.ac.jp/other/access/aoyama.html> 須賀良介)

議題 シミュレーション技術, 一般

1. 同軸プローブに基づいた複素電磁パラメータの測定に関する一検討

○陳 春平・高森大輝・小田純矢・穴田哲夫(神奈川大)・馬 哲旺(埼玉大)

2. 線路定数解析 WEB アプリケーション 柴田随道 (NTT) 午後(14:20~)

3. 体内誘導電流シミュレーションと理解増進 ○平田晃正・服部潤也(名工大)

4. Comparison of Temperature Elevation in the human eyes for Different Exposure Scenarios ○Takuya Oizumi・Ilkka Laakso・Akimasa Hirata (Nagoya Inst. of Tech.)

5. 高速多重極法併用モーメント法におけるFGMRESの高速化 ○千葉英利・深沢 徹・宮下裕章・小西善彦(三菱電機)

6. 方向性結合器と反射回路からなる損失性インピーダンス整合回路の基礎検討 ○内田浩光・山中宏治・中山正敏(三菱電機)

7. 地上デジタル放送波測定用MSA給電型ホーンアンテナに関する一検討 ○稲木一平・須賀良介・橋本 修(青学大)・川瀬隆治・田野井淳一(東急建設)

8. 近接場光解析における静的近似を適用した積分方程式法の計算精度

大貫進一郎・○奥田太郎・竹内 嵩・岸本誠也(日大)

◎研究会終了後(17:30(予定)~),懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆EST研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木), 27日(金) 北大〔締切済〕テーマ:マイクロ波フォトニクス技術, 一般

【問合先】

陳 春平(神奈川大)

E-mail: est-entry@mail.ieice.org

★データ工学研究会 (DE)

専門委員長 中野美由紀 副委員長 是津耕司・森嶋厚行

幹事 横山昌平・義久智樹 幹事補佐 吉田尚史・灘本明代

日時 6月5日(火) 13:00~18:00

6日(水) 10:00~16:10

会場 国立情報学研究所12階1208, 1210号室

議題 データ工学と食メディア

5日 調理支援

1. 既存レシピを活用した並行調理支援に関する提案

○中岡義貴・杉本和香奈・佐藤哲司(筑波大)
2. IwaCamを用いたメディア処理による遠隔コミュニケーションの支援—同時調理を題材とした映像と音声の役割に関する考察—

○山肩洋子・船富卓哉・平松紘実(京大)・

辻 秀典(IIT/情報セキュリティ大)・森 信介(京大)

3. 料理レシピにおける調理動作の道具別難易度付与の一検討 ○野田 真・宮森 恒(京都産大)

4. 食材上に情報を重畳表示する調理支援システムの試作 鈴木 優・森岡俊介・○上田博唯(京都産大)

5. 調理者の手と容器の位置関係を利用した「かき混ぜる」行動の認識 ○宮澤飛鳥・中村和晃・橋本敦史・船富卓哉・美濃導彦(京大)

招待講演1

6. [招待講演] ソーシャル時代の料理メディア—日本最大級のお料理ブログのポータルサイト「レシピブログ」の現場から— 栗飯原理咲(アイランド)

招待講演2(クックパッド)

6日午前 食のメディア処理と分析

1. FoodLog画像のクラスタリング ○天野宗佑・森川茶民・相澤清晴(東大)

2. 料理レシピテキストを対象とした構造解析の高精度化 ○荻米志帆乃・藤井 敦(東工大)

3. 東京の寿司屋に対するオンラインレビュー情報の分析 ○大島裕明・田中克己(京大)

4. 時間的冗長性の除去による調理履歴映像の要約 ○林 泰宏・道満恵介・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋(名大)

6日午後 招待講演3

5. [招待講演] 食卓造景学—食の潜在意識を観察する— 斉藤 隆(LISM)

食に関するシステム開発

6. 効率的な集合演算処理に基づくレシピ推薦機能 ○白井康之(JST)・鶴間浩二(NECソフトウェア北海道)・小山 聡(北大)・高嶋宏之(JST)

7. 気分による献立検索システムのプロトタイプにおける受容性評価 ○中村富予(相愛大)・森下幸俊(大日本印刷)

8. 気分による献立提案システムの食品販売への活用の実用化の報告 ○森下幸俊(大日本印刷)・中村富予(相愛大)

9. 時差共食コミュニケーションシステムKIZUNAの開発 ○大塚雄一郎・ナワード マモン・井上智雄(筑波大)

◆食メディア研究会協賛

◎5日18:00~懇親会を開催します。

☆DE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月1日(水), 2日(木) 名大〔未定〕テーマ:アーバンセンシング:情報創出とその応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

DE研究会幹事

E-mail: de-org@mail.ieice.org

★サービスコンピューティング研究会 (SC)

専門委員長 村上陽平 副委員長 石川冬樹 幹事 田仲正弘

日時 6月11日(月) 13:00~17:10

会場 国立情報学研究所(千代田区一ツ橋2-1-2. <http://www.nii.ac.jp/about/access/> TEL [03] 4212-2000(会場) 横山重俊(NII)・細野 繁(NEC))

議題 「Web サービス及びクラウドの構築・運用・管理」及び一般

1. [招待講演] クラウドサービスにおけるネットワークの課題と今後 淀野直弥(NECビッグロブ)
2. 研究クラウド gunnii の開発
○吉岡信和・長久 勝(NII)・谷沢智史(e-ambition)・横山重俊(NII)
3. プライベートクラウド監視アーキテクチャの提案
○谷沢智史・西村一彦(e-ambition)・長久 勝・横山重俊・吉岡信和(NII)
4. Service-Controlled Networking に基づくネットワークフローの動的制御手法
○木全 崇・豊村鉄男・金 京淑・是津耕司(NICT)
5. [招待講演] Web サービス化するインフラと、進化するコンピュータの概念 山崎泰宏(あしゅ)
6. サービス・コモنز 立堀道昭(IBM)
7. 利用者のブラウザ操作を Web サービス化するための開発・最適化支援環境
○田中昌弘・糸 照宜・松尾明彦(富士通研)
8. スマートシティにおける大規模住宅ログを活用したサービスの検討
○山本晋太郎・高橋昂平・大柳章裕・まつ本真佑・中村匡秀(神戸大)

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 6月14日(木) 13:00~16:50

会場 機械振興会館地下3階2号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題

1. 圧電トランスを用いた電界結合型非接触電力伝送の実験的検討
○荒井雅行・鶴岡 勉(東京計器)
2. 単一伝送路を利用したRFIDタグによるスマートシェルフに関する研究
○鳥崎拓也・武田茂樹・鹿子嶋憲一・梅比良正弘(茨城大)
3. 2面合成型オムニ指向性アンテナの指向性帯域改善
○和田隆寛・久我宣裕(横浜国大)
4. 二層構造の放射素子の半径を変化させた直線偏波ラジアルラインMSAアレーアンテナの設計法
○木村雄樹・斉藤作義・木村雄一(埼玉大)
5. GPUによるモーメント法の高速度
○勝田 肇・今野佳祐・陳 強・澤谷邦男(東北大)・横川 佳・袁 巧微(仙台大)
6. Comparison of total fields calculated by physical optics surface

第一種研究会開催案内

integration and line integration of equivalent edge currents using modified edge representation with SGO correction for reflection components

○Pengfei Lu・Makoto Ando (Tokyo Inst. of Tech.)

7. [IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演] 近距離イメージングレーダとアンテナー減災・防災への応用(口頭発表)
佐藤源之(東北大)

◆IEEE AP-S Japan Chapter 共催

◎研究会終了後、表彰式及び懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木), 27日(金) 北大〔締切済〕テーマ: 衛星通信, 電波伝搬, 一般

8月27日(月), 28日(火) 新潟大駅南キャンパス「ときめいと」〔6月10日(日)〕テーマ: 測定, 電力伝送, 一般

9月27日(木) KDDI研〔7月10日(火)〕テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

高橋 徹(三菱電機)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒

幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

日時 6月14日(木) 11:00~17:30

15日(金) 10:30~17:45

会場 NTT厚木研究開発センタ(厚木市森の里若宮3-1. 小田急電鉄: 本厚木駅, 愛甲石田駅からバスもしくはタクシー(約20分)を御利用下さい。バスを御利用の場合は、本数が多い愛甲石田駅が便利です。 <http://www.ntt.co.jp/sclab/maps/a.html> 廣谷定男)

議題 音声知覚生成/聴覚コミュニケーション, 一般

14日午前 一般セッション1

1. 強調音声合成のための局所韻律コンテキスト自動付与の検討
○前野 悠・能勢 隆・小林隆夫(東工大)・井島勇祐・中嶋秀治・水野秀之・吉岡 理(NTT)
2. Eigenvoice-based character conversion and its evaluation
○Teeraphon Pongkittiphan・Daisuke Saito・Nobuaki Minematsu・Keikichi Hirose (Univ. of Tokyo)
- 14日午後 オーガナイズドセッション「音声知覚生成インタラクティブ・音声認識合成統合技術」1(一般講演)
3. A low-cost concatenative TTS for monosyllabic languages
○Trung-Nghia Phung (JAIST)・Mai Chi Luong (IOIT)・Masato Akagi (JAIST)
4. Comparison of methods for emotion dimensions estimation in speech using a three-layered model
○Elbarougy Reda・Masato Akagi (JAIST)
- オーガナイズドセッション「音声知覚生成インタラクティブ・音声認識合成統合技術」2(招待講演)
5. [招待講演] 運動理論からみた知覚とコミュニケーション
柏野牧夫(NTT)
- オーガナイズドセッション「音声知覚生成インタラクティブ・音

声認識合成統合技術」3 (一般講演)

6. MR 画像に基づいた変形による生理学的発話機構モデルの
人化 ○西村奈々・川本真一 (JAIST)・
党 建武 (JAIST/天津大)

7. 個人性を考慮した異言語音声合成に対する知覚評価

○津崎 実 (京都市芸術大)・徳田恵一 (名工大)・河井 恒・
志賀芳則 (NICT)・大浦圭一郎・塩田さやか (名工大)

8. スケール変形母音の話者寸法弁別と母音同一母音持続時間の
依存性一 ○竹島千尋 (桜美林大)・
津崎 実 (京都市芸術大)・入野俊夫 (和歌山大)

15 日午前 一般セッション 2 (10:30~12:00)

1. 音のテンポと呼吸数の組み合わせが自律神経系に与える効果
○渡辺 謙 (東工大)・大石悠貴 (NTT)・
柏野牧夫 (NTT/東工大/JST)

2. タッピングを用いたテンポ変化制御特性の分析
○春木愛美・相川清明 (東京工科大)

3. 日本語版 Coordinate Response Measures (CRM) 音声コーパ
スの作成 ○古川茂人 (NTT)・小港省吾 (豊橋技科大)

15 日午後 オーガナイズドセッション「音声知覚生成インタラ
クション・音声認識合成統合技術」4 (招待講演)

4. [招待講演] 運動制御と認知を結ぶミラーニューロン
村田 哲 (近畿大)

オーガナイズドセッション「音声知覚生成インタラクション・音
声認識合成統合技術」5 (招待講演)

5. [招待講演] 脳機能イメージング技術「光トポグラフィ」に
よる聴覚性言語機能の計測 ○敦森洋和・平林由紀子・
牧 敦 (日立)・坂田英明 (目白大)・佐藤大樹 (日立)

一般セッション 3

6. 雑音重畳音声の聞き取りやすさと音響特徴量の関係の分析
○神山歩相名・井島勇祐・磯貝光昭・水野秀之 (NTT)

7. 耳音響放射と時間微細構造処理能力の相関
○大塚 翔・広田光一 (東大)・柏野牧夫 (NTT)

8. 混合音中で複数回出現する新規音の検出に選択的注意は必要
か? ○益富恵子 (東工大/NTT)・Nicolas Barascud・
Tobias Overath (UCL)・柏野牧夫 (NTT/東工大)・
Josh H. McDermott (NYU)・Maria Chait (UCL)

9. 身体運動への聴覚フィードバックによって生じる体性感覚の
再校正 ○北川智利 (NTT)・
アナ タハドゥラーヒメネズ (倫敦大)・
アレクサンダー ヴェルジャメー (グラツ大)・戸嶋巖樹・
木村聡貴 (NTT)・マノス ツァキリス (倫敦大)

◆日本音響学会; 音声研究会/聴覚研究会共催, IEEE Signal
Processing Society Japan Chapter 協賛

◎14 日 17:00~17:30 に NTT コミュニケーション科学基礎研
究所の研究紹介, 15 日 15:15~15:30 に 2011 年度音声研究
会研究奨励賞授賞式を行います。

◎14 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 19 日 (木)~21 日 (土) 滝の湯 (山形・天童温泉) [締切
済] テーマ: 認識, 理解, 対話, 一般

[問合先]

藤本雅清 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)

TEL [0774] 93-5164, FAX [0774] 93-1945
E-mail: fujimoto.masakiyo@lab.ntt.co.jp

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏

幹事 馬渡宏泰・田村信幸

幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

日時 6 月 15 日 (金) 13:15~15:10

会場 機械振興会館地下 3 階 6 号室

議題 電子・電気機器の信頼性, 故障解析, 劣化診断, 信頼性一般

1. LSI 構造解析によるトラブル未然防止に関する研究—発電ブ
ラント用電子部品の信頼性向上に向けた取り組み—

○村上和也・角本雄一 (東芝)

2. Thinning out Checkpoint Sequence in Hybrid State Saving
with a Limited Number of Periodical Checkpoints

Ryo Suzuki・○Mamoru Ohara・

Masayuki Arai・Satoshi Fukumoto・

Kazuhiko Iwasaki (Tokyo Metropolitan Univ.)

3. 多状態連続 k-out-of-n:F システムにおける最適配置に関す
る研究—故障条件が単調な場合—

○谷口 航・山本久志・長塚豪己 (首都大東京)・

秋葉知昭 (千葉工大)

4. On the Role of Equilibrium Distribution in Binomial Software
Reliability Modeling

○Xiao Xiao・Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会
協賛

☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 27 日 (金) 未定 [締切済] テーマ: 信頼性理論, 通信
ネットワークの信頼性, 信頼性一般

8 月 23 日 (木), 24 日 (金) 東北大通研 [6 月 15 日 (金)]
テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

田村信幸 (法政大)

TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126

E-mail: tamura@hosei.ac.jp

★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎

幹事 三浦 光・美谷周二郎 幹事補佐 山口 匡

日時 6 月 21 日 (木) 14:00~16:45

会場 東京大学生産技術研究所中セミナー室 1 (An401・402)

(目黒区駒場 4-6-1. 小田急線/東京メトロ千代田線; 東北沢
(普通のみ停車) より徒歩 7 分, 代々木上原駅より徒歩 12 分.

井の頭線; 駒場東大前駅 (西口) より徒歩 10 分, 池の上駅よ
り徒歩 10 分. <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html> TEL [03] 5452-6122 美谷周二郎)

議題 医用超音波, アコースティックイメージング, 一般

1. 可撓性アレイプローブを用いた不規則面からの内部きずの超
音波映像化 ○中畑和之・徳増純男 (愛媛大)

2. 顕微 Brillouin 散乱法を用いたウシ海綿骨骨梁中の評価—骨梁
長ささと音速の関係—

○坪田 遼・福井健二・菅 大輔・松川真美 (同志社大)

3. ナノ秒高強度パルスレーザ光を使う創発的応力波の研究 II

○會澤康治・吉田翔一・牧野友哉・得永嘉昭(金沢工大)

4. Modeling of Ultrasonic Echo from Arterial Wall for Accurate Detection of Posterior Intima-media Complex (IMC) Boundaries and Boundaries Detection in in vivo Measurement

○Nabilah Ibrahim・Hideyuki Hasegawa・Hiroshi Kanai (Tohoku Univ.)

5. 高精度化された WE-FDTD 法による音空間レンダリング

○土屋隆生・石井琢人(同志社大)・大久保 寛(首都大東京)

◆日本音響学会;超音波研究委員会/Aコースティックイメージング研究委員会,日本超音波医学会;基礎技術研究会,IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木),27日(金) 京都電子工業〔締切済〕テーマ:物性,一般(日本レオロジー学会;ナノレオロジー研究会,日本音響学会;音響化学研究会,音波と物性討論会共催)

8月27日(月),28日(火) 釜慶大(韓国,釜山)[6月4日(月)]テーマ:一般,水中音響(海洋音響学会,韓国音響学会嶺南支部共催)

9月24日(月) 秋田大[7月19日(木)]テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

美谷周二朗(東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治

幹事 森山甲一・片上大輔

日時 6月21日(木) 13:00~17:45

会場 京都大学東京オフィス会議室3(港区港南2-15-1,品川インターシティ A 棟27階。JR・京浜急行:品川駅より徒歩5分。 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.htm> 菅原俊治(早大))

議題 「Web インテリジェンス」及び一般

1. [招待講演] HTML5を用いた大規模ストリーミングデータのグラフ可視化技術

○松林達史(NTT)・藤村 考(大妻女子大/NTT)・星出高秀・西田京介(NTT)

2. A study on generating rules in a situational aware smart room

○Yu-Cheng Lin (Univ. of Aizu)・

Rung-Ching Chen (CYUT)・Qiangfu Zhao (Univ. of Aizu)

3. 双方向ジョブマッチングを利用した効率的な就労支援システムの提案

○角田朋之・峯 恒憲(九大)

4. [招待講演] 震災時におけるソーシャルメディアのコミュニケーション分析

○鳥海不二夫(東大)・篠田孝祐(理研)・栗原 聡(阪大)・榊 剛史(東大)・

風間一洋(NTT)・野田五十樹(産総研)

5. 協力者の選定によるデマンドレスポンスの効率化

○山口晃平・成富隆斗・峯 恒憲(九大)

6. Web 視聴記録を用いた利用者行動因子の抽出

○中渡瀬秀一・大山敬三(NII)

7. 社会ネットワークの成長を考慮したインフルエンサー抽出手法

大野将樹(電通大)

【問合せ先】

AI 研究会幹事

E-mail: ai-staff@mail.ieice.org

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・中村 豊

幹事 衛藤将史・北辻佳憲

幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹・山本 寛

★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 森井昌克 副委員長 菊池浩明・盛志志帆

幹事 井上大介・西出隆志 幹事補佐 白石善明

日時 6月21日(木) 14:00~16:55

22日(金) 9:00~12:15

会場 東海大学高輪キャンパス

議題 インターネットセキュリティ, 一般

21日 インターネットセキュリティ, 一般(1)

1. HANA によるデータセンターの構築 藤川賢治(NICT)
2. 大学施設における電力消費削減のためのプッシュ型見える化手法の評価

○宇佐見 潤・繁田浩功・間下以大・竹村治雄(阪大)

3. Web ブラウザ拡張機能を用いた認証連携基盤の機能拡張フレームワークの提案

○秋山豊和(京都産大)・

西村 健・山地一禎・中村素典(NII)

4. 安全な情報収集のための情報基盤の検討

○樋地正浩(日立東日本ソリューションズ/東北大)・

松本和芳(日立東日本ソリューションズ)

5. [招待講演] IPv6 におけるセキュリティ課題の分析

北口善明(金沢大)

22日午前 インターネットセキュリティ, 一般(2)

1. URL 情報分析に基づくフィッシング対策方式の検討

○松ヶ谷新吾・佐藤 直(情報セキュリティ大)

2. nictc によるネットワーク観測及び分析レポート-DDoS 攻撃によるバックスキップの推移と分類—

○中里純二(NICT)・島村隼平(clwit)・

衛藤将史・井上大介・中尾康二(NICT)

3. マルウェアのオペコードに着目した高速な分類手法

○鐘 揚・高倉弘喜(名大)

4. [招待講演] 標的型攻撃の解析から見える攻撃全体動作と通信シーケンス

松川博英(トブレマイクロ)

パネルディスカッション

5. パネルディスカッション—標的型攻撃対策—

◎22日12:15~学生研究奨励賞受賞式, IA 研究賞授賞式を開催します。

☆IA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月21日(金) IJ 神保町三井ビル[未定] テーマ:イン

ターネット運用・管理, 一般 (JANOG 共催)

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (京大術情報メディアセンター岡部研究室内)
TEL (075) 753-7417, FAX (075) 753-7440
E-mail : ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

☆ICSS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月19日(木), 20日(金) 北海道工大〔締切済〕テーマ:
セキュリティ, 一般

【問合せ先】

三宅 優 (KDDI 研)
TEL (049) 278-7367, FAX (049) 278-7510
E-mail : icss-request@mail.ieice.org

◎最新情報は, ICSS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/icss/index.html>

エレクトロニクスサイエティ 材料デバイスサマーミーティングのお知らせ

エレクトロニクスサイエティ (ES) では6月22日(金), 機械振興会館において材料デバイスサマーミーティングを開催します。これは, 以前から続けてまいりました「材料・デバイス連合講演会」を発展させたものです。材料・デバイス分野の研究者が一堂に会して有益な意見交換ができる場を提供することが目的の一つです。

今年度も, 昨年度と同様に, 7つの研究会が参加します。(5つの第一種研究会に加えて, 集積光デバイスと応用技術時限研究会, 次世代ナノ技術時限が参加します。)

また, 午後の冒頭には東京工業大学栄誉教授末松安晴先生による特別講演「半導体レーザー50周年に際して」の開催(研修1号室, 13:00~13:50)を予定しております。

多数の方に参加して頂けるよう以下に御案内申し上げます。

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰
幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁
幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

★レーザー・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治
幹事 篠田和典・田中 有

日時 6月22日(金) 9:25~17:50

会場 機械振興会館地下3階研修1号室, 研修2号室

議題 材料デバイスサマーミーティング

セッション1 (地下3階研修2号室 13:00~17:50) (機構デバイス/電子部品・材料/有機エレクトロニクス)

(研修1号室)

1. [特別招待講演] 半導体レーザー50周年に際して
末松安晴 (東工大)
酸化物, 酸化物エレクトロニクス, 一般 (研修2号室)
2. 触媒反応生成高エネルギー H₂O を用いたサファイア基板上 ZnO エピタキシャル膜の電気特性—二層モデルによる解析—
○永富瑛智・山口直也 (長岡技科大)・梅本宏信 (静岡大)・加藤孝弘・安井寛治 (長岡技科大)
3. 触媒反応生成高エネルギー H₂O を用いてガラス基板上に成長した ZnO 膜の特性
○小柳貴寛・里本宗一・佐藤 魁・加藤孝弘 (長岡技科大)・片桐裕則・神保和夫 (長岡高専)・安井寛治 (長岡技科大)
4. コンタクトエピタキシャル法による酸化物結晶薄膜の形成
○野毛 悟・小西顕太 (沼津高専)
5. 塩化亜鉛を原料に用いた溶液成長法による ZnO ナノロッドの成長と形状制御
○寺迫智昭・村上聡宏 (愛媛大)・矢木正和 (香川高専)・白方 祥 (愛媛大)
6. ZnO ナノロッドアレイを用いた横方向電界印加型発光デバイスのカソード電極材料と形状の検討
○山崎敬太・佐藤知正・平手孝士 (神奈川大)
7. バイモルフ複合体アクチュエータ
○丸山弘貴・細田祐樹・番場教子・深海龍夫 (信州大)
8. プリント基板材料で発生する相互変調ひずみ測定の高感度化
○齋藤健介・久我宣裕 (横浜国大)
9. ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化現象—接触抵抗とそのモデル(22)—
○和田真一・越田圭治・サインダーノロプリン・益田直樹・柳 国男・久保田洋彰 (TMCシステム)・澤 孝一郎 (日本工大)

セッション2 (地下3階研修1号室 9:25~17:30) (光エレクトロニクス/レーザー・量子エレクトロニクス/集積光デバイスと応用技術 (協賛))

アクティブデバイスと集積化技術, 一般

1. ポリマー導波路型 Kretschmann 構造による小型・高感度・1500 nm 帯動作 SPR センサの提案と基本特性
○小林 真・島津啓史・宇高勝之 (早大)
2. BeZnCdSe 量子井戸を用いた緑色半導体レーザーの高出力発振
○藤崎寿美子・葛西淳一 (日立)・秋本良一 (産総研)・田中滋久・辻 伸二 (日立)・挾間壽文・石川 浩 (産総研)
3. メタモルフィックバッファを用いた GaAs 基板上 1.3 μm 帯レーザーによる 20 Gbps 直接変調動作
○荒井昌和・金澤 慈・田所貴志・神徳正樹 (NTT)
4. 非対称アクティブ MMI による単一波長レーザー発振
○日隈康裕・茶円 豊・姜 海松・木津昂明・萩尾拓真・中村誠希 (九大)・田島章雄 (NEC)・浜本貴一 (九大)
5. 0.35 μm BiCMOS プロセスで作製した Si フォトダイオードの GHz 応答
○前北和晃・乙坂英志・霜島敏之・丸山武男・飯山宏一 (金沢大)

午後

6. [特別招待講演] 半導体レーザー50周年に際して
末松安晴 (東工大)

半導体レーザー50周年特別講演会

7. [招待講演] 半導体レーザーと光集積回路の通信システム導入

河内正夫 (NEL)

8. [招待講演] 面発光レーザーの進展

○小山二三夫・伊賀健一 (東工大)

9. [招待講演] 緑色半導体レーザーの進展 岸野克巳 (上智大)

10. [招待講演] 紫外光レーザーと深紫外発光素子

青柳克信 (立命館大)

11. [招待講演] フォトニック結晶レーザーの進展

野田 進 (京大)

12. [招待講演] 量子ドットレーザーの発展—提案から市場化までの30年—

荒川泰彦 (東大)

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月20日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ:放電・実装, EMC, 一般

8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔6月15日(金)〕
テーマ:光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

9月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

長谷川 誠 (千歳科技大)

TEL & FAX [0123] 27-6059

E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp

関川純哉 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

服部康弘 (住友電装)

TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔6月15日(金)〕

テーマ:光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

佐藤知正 (神奈川大)

E-mail: satout02@kanagawa-u.ac.jp

◎CPM 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/~cpm/jpn/welcome.html>を御参照下さい。

☆OME 研究会

【問合せ先】

松田直樹 (産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

酒井正俊 (千葉大)

E-mail: sakai@faculty.chiba-u.jp

☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木), 27日(金) 北大〔締切済〕テーマ:マイクロ波フォトニクス技術, 一般

8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔6月15日(金)〕

テーマ:光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

第一種研究会開催案内

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和 (NTT 先端技術総合研究所)

〒243-0198 厚木市森の里宮宮 3-1

TEL [046] 240-5151, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では, H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので, 積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔6月15日(金)〕

テーマ:光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7786

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8249, FAX [046] 250-8146

E-mail: yu_tanaka@jp.fujitsu.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

☆IPDA 研究会

【問合せ先】

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

大儀義孝 (NTT フォトニクス研究所)

TEL [046] 240-3282, FAX [046] 240-4301

E-mail: ohiso.yoshitaka@lab.ntt.co.jp

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 6月22日(金) 13:00~17:00

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 設計/テスト/検証

1. 故障活性化率向上指向ドントケア割当て法の評価

○若杉諒介・細川利典 (日大)・吉村正義 (九大)

2. 組み込み遅延測定回路を用いた時分割オンチップパス遅延測定のための入力系列データ量削減の1手法

加藤健太郎 (鶴岡高専)

3. 高信頼組込み自己テストのための耐故障テスト生成器に関する考察
○深澤祐樹・岩垣 剛・市原英行・井上智生 (広島市大)
4. [招待講演] シグナルインテグリティ不良に対する実証的研究の試み
○高橋 寛・樋上喜信 (愛媛大)・山崎浩二・堤 利幸 (明大)・四柳浩之・橋爪正樹 (徳島大)
5. レイアウトを考慮したブリッジ/オープン故障カバレッジの高精度見積法
○新井雅之・清水貴弘・岩崎一彦 (首都大東京)
6. 論理 BIST の電力低減手法と評価
○佐藤康夫・王 森レイ・加藤隆明・宮瀬紘平・梶原誠司 (九工大)
7. On Per-Cell Dynamic IR-drop Estimation in At-Speed Scan Testing
○Yuta Yamato・Tomokazu Yoneda・Kazumi Hatayama・Michiko Inoue (NAIST)
8. リングオシレータ利用モニタ回路によるチップ内温度・電圧の試作評価とフィールドテストへの活用検討
○三宅庸資・笹川拓磨・佐藤康夫・梶原誠司 (九工大)・三浦幸也 (首都大東京)

【問合先】

土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)

E-mail: t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は、DC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 近藤公久・佐良木 昌
幹事 黒田 航・久保村千明 幹事補佐 横野 光・乾 孝司

日時 6月23日(土) 10:30~16:45
会場 早稲田大学8号館303-305(新宿区西早稲田1-6-1)
議題 テキスト・談話、思考と言語一般

1. 記号と言語と条件反射—鈴木孝夫の『鳥類の音声活動—記号論的考察』に刺激されて— 得丸公明 (システムエンジニア)
2. 言語情報からの知識獲得—テキスト化された高次複雑情報は、どう理解し身につければよいか— 得丸公明 (システムエンジニア)
3. 複数の単位情報からなる言語情報の処理について
岩垣守彦 (フリー)

午後

4. ウィリアムズ症候群にみる言語習得の非定型のプロセスと言語能力のモジュール性を巡る考察 片田 房 (早大)
5. 著者性とパースペクト・シフト 山森良枝 (同志社大)
6. 継続的なグループ活動に埋め込まれた行為としてのミーティング談話の分析 ○高梨克也 (JST/京大)・平本 毅 (京大)
7. 日本舞踊「黒田節」の伝統伝承における談話分析と評価—GMAISによるシステム応用— 沢 恒雄 (遊)
8. パターン認識を用いた課題英作文の自動評価の試み
○小林雄一郎 (学振)・金丸敏幸 (京大)
9. 顔文字情報の半教師有り学習を利用した事例ベース自由対話システム ○椎名海順・小谷善行・古宮嘉那子 (東京農工大)
10. ILPによる日本語 Web テキストからの文法獲得システムの開発
○佐藤雄一 (東京工科大)・久保村千明 (山野美容芸術短大)・亀田弘之 (東京工科大)

★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 安西祐一郎 副委員長 萩田紀博・土井美和子
幹事 今井倫太・宮下敬宏
幹事補佐 富田仁志・杉山博史・中尾敏康

日時 6月25日(月) 13:00~16:45
会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎シンポジウムスペース
(横浜市港北区日吉4-1-1. 東急東横線:日吉駅前. <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html> TEL [045] 566-1515 今井倫太)

議題 生活環境とクラウドネットワークロボット及びその他一般

1. [招待講演] 生命化建築のコンセプトとセンサーエージェントロボット 三田 彰 (慶大)
2. [招待講演] ロボットと共生する生活空間のデザイン 渡邊朗子 (東京電機大)
3. つくばチャレンジの歩みと demura.net チームの取り組み 出村公成 (金沢工大)
4. かけがえのない機械—擬人化技術の一検討— 山本吉伸 (産総研)
5. クラウドサービスを用いたロボットパートナーによる情報支援 ○唐 達頼・久保田直行 (首都大東京)
6. ユーザの状態を考慮した能動的情報提示システム IPSODA の検証 ○大西 樹・北出卓也・今井倫太 (慶大)

【問合先】

今井倫太 (慶大)

TEL [045] 566-1515, FAX [045] 566-1749

<http://www.ayu.ics.keio.ac.jp/cnr/>

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔
幹事 井手一郎・蔵田武志・米澤朋子
幹事補佐 三上 弾・杉本麻樹・酒田信親

日時 6月26日(火) 10:45~16:50
27日(水) 10:00~16:15
会場 東京大学本郷キャンパス山上会館 (http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html)

議題 人工現実感

26日午前 マルチモーダルHI, BCI

- MVE-1. 水滴を用いた自由空間内での視覚統合情報提示に関する基礎検討 ○永徳真一郎 (東大/NTTコミュニケーションズ)・鳴海拓志・檜山 敦・谷川智洋・廣瀬通孝 (東大)
- MVE-2. 布地パッチの接触面積が皮膚の湿潤感へ与える影響
○大地 徹・奥田真太郎・柳田康幸 (名城大)
- MVE-3. 脳波による手指運動想起判別の基礎検討
○吉竹一智・唐山英明 (富山県立大)
4. 空間内の複数人員配置のための指示位置提示手法に関する検討
○児島陽平・伊藤雄一・中島康祐・藤田和之・尾上孝雄 (阪大)

26日午後 サービスや生活とVR/AR (13:40~)

- MVE-5. ミュージアムにおける名札を用いた来館者の鑑賞方向センシングの基礎検討 ○ソ ミギヨシ・苗村 健 (東大)
- MVE-6. スマートフォン内蔵センサと環境カメラを活用した端末ペアリング方式の提案
○山口徳郎・立澤 茂・野中雅人 (OKI)

MVE-7. 頭部運動に基づく視線推定の有効性の検討

○濱咲侑也・中村聡志・柳田康幸（名城大）

8. マルチタッチディスプレイを用いたプランニングができるデジタルサイネージシステムに関する検討

○遠藤隆介・伊藤雄一・中島康祐・藤田和之（阪大）・
岸野文郎（関西学院大）

MVE-9. ライフログを用いた未来予測によるタスク進行管理手法の検討

○田村洋人・小川恭平・竹内俊貴・
鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝（東大）

VR/MRのための画像コンテンツ生成

MVE-10. 画像スティッチングによる自由曲面投影ディスプレイの投影視野拡大

○佐藤裕貴（岐阜大）・小林繁治，木島竜吾（岐阜大）

MVE-11. Fast Hash-Based Inpainting for Virtualized-Reality Indoor Modeling

○Kalaivani Thangamani・
Tomoya Ishikawa・Koji Makita・Takeshi Kurata（AIST）

27日午前 感覚とヒューマンファクター

MVE-1. 臨場感と現実感の評価の実験

○飯村浩平・小松 剛・中村広幸・大倉典子（芝浦工大）

MVE-2. 拡張現実感を利用した物体の明度操作による重量知覚及び作業疲労の操作

○藤井達也・伴 祐樹・
井村 純・鳴海拓志・廣瀬通孝・谷川智洋（東大）

MVE-3. VR空間でのインタラクションにおけるしっくり感の定量評価

○宇塚貴紀・伴 祐樹・木山 亮・
鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝（東大）

MVE-4. VRにおけるスケールと動作音のリアリティの関係性の研究

○大原寛司・荒川卓也・上田雅道・
木山 亮・鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝（東大）

27日午後 HMD

MVE-5. 広視野シースルー HMDによる情報提示のためのVR環境を用いた周辺視野の影響の調査

○岸下直弘・間下以大・清川 清・竹村治雄（阪大）

MVE-6. 画面内時間遅れが頭部搭載ディスプレイ使用者の視覚に与える影響

○土井崇史（岐阜大）・
毛利勇一（セイコーエプソン）・早川雄一郎・木島竜吾（岐阜大）

ハプティックとVR/AR

7. 空気砲を用いた触感ディスプレイの印象評価

○橋口哲志・張 帥・山本修平・竹田 仰（九大）

8. 点群表現された実物体に対するリアルタイム力覚提示手法

○山崎健一・橋本 渉・西口敏司（阪工大）

MVE-9. VR世界への両手多指操作のためのハプティックインタフェースの開発

○周東正高・谷川心平・
三宅 慧・赤羽克仁・佐藤 誠（東工大）

MVE-10. アンカーレス2自由度力覚提示装置を用いた広域VR物体の力覚提示

○朴 成洙・岩田洋夫・矢野博明（筑波大）

MVE-11. 力覚を伴うウェアラブルARシステム

○村上和也・木山 亮・井村 純・
鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝（東大）

◆ヒューマンインタフェース学会；バーチャル・リアリティー・インタラクション専門研究委員会，映像情報メディア学会；ヒューマンインフォメーション研究会連催，日本バーチャルリアリティ学会共催

【問合先】

井手一郎（名大），蔵田武志（産総研）

E-mail：mve-apply2012@mail.ieice.org

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会（SANE）

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 6月28日（木）10：45～17：40

29日（金）10：45～16：35

会場 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター総合開発推進棟2階中会議室（つくば市千現2-1-1，つくばエクスプレス線：つくば駅下車，タクシーで約10分，または関鉄バス荒川沖駅行き「物質研究所」下車徒歩1分，または，JR常磐線：荒川沖駅下車，つくばセンター方面バスで宇宙センター前下車，http://www.jaxa.jp/about/centers/tksc/traffic_j.html TEL [050] 3362-7573 谷島正信）

議題 宇宙応用シンポジウム

28日午前

1. EarthCARE/CPRの開発状況について

○関 義広・木村俊義（JAXA）・高橋暢宏（NICT）・
中塚大貴・岡田和之・門崎 学・山口 潤（JAXA）・
大野裕一・堀江宏昭・佐藤健治（NICT）

2. GPM 主衛星搭載二周波降水レーダの開発状況

○三浦健史・小嶋正弘・古川欣司・石切孝之・改井洋樹・
百束泰俊（JAXA）・井口俊夫・花土 弘・中川勝広（NICT）

3. 地球観測衛星用超高速データ伝送システムの一検討

○田島成将・稲岡和也・荒木智宏・
島田政明・白倉政志（JAXA）

28日午後

4. [招待講演] 韓国の宇宙開発と日韓宇宙協力について

金 斗煥（亞洲大）

5. 小惑星サンプルリターンミッション「はやぶさ2」の進捗状況

○吉川 真・南野浩之・中澤 暁・
安部正真・津田雄一（JAXA）

6. レーザー方式宇宙太陽光利用システム（LSSPS）における複数受光地化による利用効率向上検討（その2）

○長山博幸（MRI）・木皿且人・
吉田裕之・谷島正信（JAXA）

7. CIGS 薄膜太陽電池の放射線照射効果 川北史朗（JAXA）

8. 次期赤外線天文衛星の電磁環境両立性の検討評価

○富木淳史・久木田明夫・磯部直樹（JAXA）・
小林岳彦（東京電機大）・土井靖生（東大）・
川田光伸・松原英雄・村上 浩・中川貴雄（JAXA）

9. リチウムイオンキャパシタを用いた宇宙機電源システムの検討

○鶴野将年・久木田明夫（JAXA）

10. 準天頂衛星システムの開発と技術実証の成果

○若林野花・小暮 聡・岸本統久・三吉基之（JAXA）

11. 準天頂衛星システム時刻管理系技術実証実験結果

○高橋靖宏・浜 真一・雨谷 純・中村真帆・藤枝美穂・
田淵 良・後藤忠広・成田秀樹・Thomas Hobiger・
相田政則・中澤勇夫（NICT）・岸本統久（JAXA）・
矢作行弘（NEC エンジンリング）・高橋 環・堀内 聡（NEC）

12. 「みちびき」を利用した疑似時計技術

○岩田敏彰・松澤 孝・町田久美子（産総研）・河内健史・
太田 聡（三菱スペース・ソフトウェア）・福原好晴（宇宙技術開発）・
広島 保・時田一生（コスモサーチ）・
高橋 環・堀内 聡（NEC）・高橋靖宏（NICT）

29日午前

1. 小型実証衛星4型 SDS-4 の軌道上初期運用結果（速報）

○大谷 崇・中村揚介・高橋康之・井上浩一・平子敬一 (JAXA)

2. 超低高度衛星技術試験機 (SLATS) の開発状況
○此上一也・川崎春夫・佐藤洋平・高畑博樹 (JAXA)
3. FRONT—編隊飛行 (FF)・相対軌道・航法工学実証ミッション—
○河野 功・池永敏憲 (JAXA)
- 29 日午後
4. 深宇宙探査技術の現状と将来—小型衛星の通信・観測システムへの応用—
○前田惟裕 (東大)・川口淳一郎 (JAXA)
5. ALOS-2 小型相乗り副衛星 SPROUT ミッションの概要
○山崎政彦・日本大学超小型衛星開発プロジェクトチーム・宮崎康行 (日大)
6. 超小型地球観測衛星「RISING-2」の開発報告～多波長望遠鏡による積乱雲及びスプライト現象の観測
○坂本祐二・富岡義弘・福田和史・杉村伸雄・桑原聡文・吉田和哉 (東北大)
7. UNIFORM の開発の概要
秋山演亮 (和歌山大)
8. 超小型位置天文衛星 Nano-JASMINE の姿勢制御系について
○稲守孝哉 (東大)・酒匂信匡 (信州大)・清水健介・三川祥典・細沼貴之・滝澤潤一・中須賀真一 (東大)
9. VSOTA : ほどよし 2 号の光通信ミッションについて
○國森裕生・竹中秀樹・布施哲治・後藤忠広・久保岡俊宏・豊嶋守生 (NICT)・吉田和哉・桑原聡文 (東北大)
10. 小型衛星の X バンドダウンリンク用の小型アンテナ
○神田泰明・羽賀俊行・小木曾 賢・奥野秀一・藤田正道 (アテナ技研)
11. 小型衛星高速ダウンリンク通信の高効率 GaN 増幅器の開発とプレディストーションによる非線形歪みの改善
○渡邊宏弥 (東大)・富木淳史 (JAXA)・岩切直彦・深見友也 (東大)・齋藤宏文 (JAXA)・中須賀真一 (東大)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎参加を御予定の JAXA 外の方は、可能な限り、御所属とお名前を事前に会場世話人 (谷島様: yajima.masanobu@jaxa.jp) まで御連絡下さい。御協力をよろしくお願い致します。

【問合先】

富木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail : tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail : nandai@nict.go.jp

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 増市 博・竹内孔一
幹事 柳原 正・西崎博光 幹事補佐 金山 博・大塚裕子

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

日時 6月29日 (金) 9:00~17:30

会場 早稲田大学早稲田キャンパス 63号館 2階 03 会議室 (新宿区大久保 3-4-1. 地下鉄副都心線: 西早稲田駅 3 番出口 (キャンパス図右端). JR 山手線/西武新宿線/地下鉄東西線/高田馬場駅徒歩 15 分. 新宿駅西口から早稲田行きバス,

または高田馬場駅から九段下行きバスで都立身体障害者センター前バス停下車. <http://www.waseda.jp/jp/campus/nishiwaseda.html> TEL [03] 5286-2638 石川 博)

議題 自然言語とパターン認識の境界

一般セッション 1

1. 自然言語の分子構造—意識の脳室内免疫応答仮説—
得丸公明 (システムエンジニア)
2. 論文構成要素の抽出に適した手掛かり語の推定
○酒井敏彦・廣川佐千男 (九大)

テーマセッション 1

3. 時系列性を持つテキストのクラスタリング
○浜田玲子・佐藤真一 (NII)
4. Twitter ユーザの生活エリア動的ラベリング手法
○岩井将行・坂巻智浩・奥野淳也・瀬崎 薫 (東大)

一般セッション 2

5. 複眼センサシステムのためのモンテカルロ法に基づく歩行者数推定手法の提案と評価
○藤井崇渡・谷口義明・長谷川 剛・中野博隆 (阪大)
6. CVPR2012 報告
玉木 徹 (広島大)

29 日午後 特別セッション (13:30~)

7. [特別講演] 連続値と統計的自然言語処理
持橋大地 (統計数理研)
8. [招待講演] 多メディア Web 解析における大規模データ処理
豊田正史 (東大)
9. ディスカッション
テーマセッション 2
10. 複数人談話における笑いの情報を考慮した盛り上がり判定
○嶋田和孝・楠本章裕・横山貴彦・遠藤 勉 (九工大)
11. モンドリアン HMM による音楽信号の解析
○中野允裕・大石康智・亀岡弘和・向井 良・柏野邦夫 (NTT)
12. ノンパラメトリックベイズアプローチに基づく音響イベント検出
○大石康智 (NTT)・持橋大地・松井知子 (統計数理研)・中野允裕・亀岡弘和・泉谷知範・柏野邦夫 (NTT)

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月2日 (日), 3日 (月) 東京農工大 [6月8日 (金)] テーマ: コンピュータビジョンとパターン認識のための機械学習及び企業ニーズセッション

9月のPRMUは、IBISML共催及びCVIM連催でテーマセッション「コンピュータビジョンとパターン認識のための機械学習」、及びオーガナイズドセッション「企業ニーズセッション」の二つの企画で開催予定です。

機械学習は、コンピュータビジョンとパターン認識の分野における重要な要素技術の一つであり、構造スパース性を活用した学習や大規模データからの学習など、様々な学習アルゴリズムが近年盛んに研究開発されています。また、近年ではビッグデータからビジネスに役立つ価値の発見や、画像を活用した多種多様なビジネスが展開されております。そこで、PRMU/IBISML/CVIM合同でのテーマセッション「コンピュータビジョンとパターン認識のための機械学習」では、機械学習アルゴリズムを用いたビジョン応用から、ビジョンに役立つ機械学習のアルゴリズム開発、更には画像を性能評価に用いた機械学習の理論研究に至るまで、機械学習とパターン認識・コンピュータビジョンに関する研究発表を幅広く募集します。また、関連分野で活躍されている講師を招き、最先端の機械学習手法を用いた画像処理技術、及び、

画像処理に役立つ最先端の機械学習技術を紹介して頂く予定です。御期待下さい。

一方の企業ニーズセッションでは、企業で新たな事業に取り組む観点から、各研究会が関連する研究分野に対して、どのようなニーズがあるのか、どのような研究が期待されているのかといったテーマでのオーガナイズドセッション並びにパネルセッションを企画予定です。

なお、以上に加えて一般セッション論文も募集致します。個別の研究会の枠を越えた活発な議論の場として御活用頂けましたら幸いです。

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

飯山将晃 (京大)

TEL & FAX [075] 753-3424

E-mail: prmu-submit@mail.ieice.org

——北海道支部における開催——

★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和

幹事 吉澤真吾・筒井 弘 幹事補佐 目黒光彦・田中 豪

日時 6月14日(木) 10:30~17:00

15日(金) 10:00~11:20

会場 帯広市とかちプラザ(帯広市西4条南13丁目1. JR帯広駅から徒歩3分。 <http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/tokachiplaza/a600110tokachiplaza.jsp> TEL [0155] 22-7890 宮永喜一(北大)

議題 スマートパーソナルシステム, 一般

14日午前

1. 改良型 WEP アルゴリズムのハードウェア実装

○佐藤友暁・今田智也(弘前大)・

Moungnoul Phichet (KMITL)・深瀬政秋(弘前大)

2. MIMO-OFDM 方式における PTS 手法に基づく PAPR 低減に関する検討

○井上祐也(北大)・吉澤真吾(北見工大)・宮永喜一(北大)

3. SVD-MIMO-OFDM システムにおける特異値分解プロセッサの高速・低消費電力化設計

○岩泉洋紀(北大)・吉澤真吾(北見工大)・宮永喜一(北大)

14日午後

4. 口腔画像に基づく口腔粘膜疾患診断支援における勾配強度ヒストグラムの有意性の検討

○西 勇作(九工大)・大谷泰志・土生 学(九州歯科大)・

堀尾恵一(九工大)・富永和宏(九州歯科大)

5. 局所領域の勾配を考慮した歯科パノラマ X 線写真における石灰化に対する自動検出手法の改善

泉 佳範・○原田裕典・棟安実治・浅野 晃(関西大)・

内田啓一・田口 明(松本歯科大)

6. 体表面皮膚温度の自動計測システム構築に関する一検討—Kinect による人体骨格認識の応用—

○大畑博宣・藤井哲郎(東京都市大)

7. 中国人が発声した日本語音声の特徴解析とその自動認識のための一手法

李 キン・○荒川 薫(明大)

8. パターンマッチングに基づいた色転写によるモノクロ画像の

着色法に関する一提案

○上田千晶(山口大)・

徳永憲洋(777研)・末竹規哲・内野英治(山口大)

9. 輝度成分と彩度成分を用いた適応的カラー画像強調法

吉成和也・○田口 亮(東京都市大)

10. 印刷画像からの情報検出におけるマーカ埋め込みによる幾何学的歪み補正法の改良

○玉置公寿・光安一輝・棟安実治・花田良子(関西大)

11. [招待講演] コンピュータグラフィックスの基礎と応用

土橋宜典(北大)

15日

1. PCA-L1 による部分空間法の高速度

○廣川真梨子・黒木祥光(久留米高専)

2. Kinect センサとパーティクルフィルタによるゴルフスイング時のグリップ追跡

○熊田健作・白井 温・近藤克哉(鳥取大)

3. 多視点映像復号の組込み実装に関する一検討

○竹内一貴・尾上孝雄(阪大)

4. 動き検出履歴とコスト最適化に基づくデインタレースに関する検討

前野達生(阪大)・○筒井 弘(京大)・尾上孝雄(阪大)

☆SIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月 大阪 [未定] テーマ: 知的マルチメディアシステム, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

吉澤真吾(北見工大)

E-mail: yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄

幹事 全 真嬉・河村彰星

日時 6月21日(木) 9:30~17:35

会場 北海道大学工学部アカデミックラウンジ3 [B3棟2F] (札幌市北区北13条西8丁目。札幌駅より北大工学部まで徒歩20分。または地下鉄北12条駅で下車, 北大13門より歩いて5分。 <http://www.eng.hokudai.ac.jp/m/access/> 湊 真一)

議題

1. 組合せ問題の解を列挙索引化する ZDD 構築アルゴリズムの汎用化

○川原 純(JST)・湊 真一(北大)

2. 系列二分決定グラフを操作するための豊富な演算体系の構築

○伝住周平・有村博紀・湊 真一(北大)

3. Efficient Enumeration of the Directed Binary Perfect Phylogenies from Incomplete Data

清見 礼(横浜市大)・

○岡本吉央(電通大)・斎藤寿樹(神戸大)

4. Efficient Exponential Time Algorithms for Edit Distance between Unordered Trees

Tatsuya Akutsu・○Takeyuki Tamura (Kyoto Univ.)・

Daiji Fukagawa (Doshisha Univ.)・Atsuhiko Takasu (NII)

5. Recursive and non recursive formulas in finitism

Eiichi Tanaka (Kobe Univ.)

午後(13:20~)

6. A Satisfiability Algorithm and Average-Case Hardness for Formulas over the Full Binary Basis

○Kazuhisa Seto・Suguru Tamaki (Kyoto Univ.)

7. Candidate Boolean Functions towards Super-Quadratic Formula Size Kenya Ueno (Kyoto Univ.)
8. 距離 d 独立頂点集合問題の計算複雑さ 江藤 宏・郭 豊瑞・○宮野英次 (九工大)
9. An Algorithm for the Next-to-Shortest Path in Undirected Planar Graphs ○Cong Zhang・Hiroshi Nagamochi (Kyoto Univ.)
10. Atomic Pattern Rearrangement ○Chuengsatiansup Chitchanok (Univ. of Tokyo)
11. Optimal Average Joint Hamming Weight for Biased Representation ○Vorapong Suppakitpaisarn (Univ. of Tokyo)・Masato Eda (Nagoya Univ.)・Hiroshi Imai (Univ. of Tokyo)
12. 包含多角形列の計算手法とその実験的解析 ○大西建輔 (東海大)・星 守 (電通大)
13. Approximation for the Geometric Unique Coverage Problem on Unit Squares ○Takehiro Ito (Tohoku Univ.)・Shin-ichi Nakano (Gunma Univ.)・Yoshio Okamoto (Univ. of Electro-Comm.)・Yota Otachi・Ryuhei Uehara (JAIST)・Takeaki Uno (NII)・Yushi Uno (Osaka Pref. Univ.)
14. Notes on weighted Delaunay triangulations and discrete Ricci flow—Relation between weighted Delaunay triangulations and circle packing metrics— ○Toshihiro Tanuma・Hiroshi Imai (Univ. of Tokyo)

【問合先】

全 眞嬉 (東北大学院情報科学研究科)
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09
E-mail : jinhee@dais.is.tohoku.ac.jp

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承
幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

日時 6月21日(木) 13:30~16:30
22日(金) 12:30~14:10

会場 函館市民会館 (函館市湯川町 1-32-1. 函館空港からバスで「市民会館前」下車徒歩3分(約20分), 函館駅から市電で「市民会館前」下車徒歩3分(約40分). <http://www.zaidan-hakodate.com/kaikan/access.html>)

議題 品質制御, 輻輳制御, 信頼性技術, IPTV, コンテンツネットワーク, ネットワークソフトウェア及び一般

21日

- 消費電力観測値に基づく生活状況推定システムの設計
○吉野太郎・栗原孝太・和泉 諭 (東北大)・寺邊正大 (三菱総研)・橋本和夫・菅沼拓夫 (東北大)
- 電力の有効利用を実現する生活行動プランニング手法
○栗原孝太・吉野太郎・和泉 諭 (東北大)・寺邊正大 (三菱総研)・橋本和夫・菅沼拓夫 (東北大)
- 無線 LAN 環境における SCTP を利用した TCP データ転送の省電力化 ○橋本匡史・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)
- 〔招待講演〕遅延・切断耐性ネットワーク (DTN) とその応用への課題 柳生智彦 (NEC)
- 〔招待講演〕データセンターネットワークの研究動向 ○大下裕一・村田正幸 (阪大)

22日

- スケーラブルな複合イベント処理システムとその評価
○磯山和彦・小林佑嗣・佐藤 正・多賀戸裕樹・喜田弘司・吉田万貴子 (NEC)
- 大規模停電等による端末一斉起動を考慮した DHCP 信号の取り取り方式 北野雄大 (NTT)
- 経路制御を考慮したデータセンターネットワーク構成の評価
○下間雄太・大下裕一・村田正幸 (阪大)
- 大規模コンテンツ配信事業者による CDN 導入状況判別法と国内における配信動向の分析
○小林正裕・亀井 聡・斎藤 洋 (NTT)

◎21日 16:45~18:45, 22日 9:30~11:30 と 14:25~16:25 にネットワークソフトウェア研究会 (NWS) が開催されます。プログラムについては以下を御覧下さい。

http://www.ieice.org/~nws/meeting_16th_program.html

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月19日(木), 20日(金) 北大〔未定〕テーマ:新世代・次世代ネットワーク, ネットワークとシステムの仮想化, 仮想化環境の管理・監視, オーバーレイ, IPv6 ネットワーク, フォトニックネットワーク及び一般

8月 休会

9月20日(木), 21日(金) 東北大〔未定〕テーマ:ポスト IP ネットワーキング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラフィック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail : in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

村山純一 (NTT)

TEL [0422] 59-3949, FAX [0422] 59-5652

外山将司 (NTT)

TEL [0422] 59-4886, FAX [0422] 59-5652

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお, 原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一
幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス
幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

日時 6月21日(木) 10:00~17:45
22日(金) 9:50~16:40

会場 函館市中央図書館 (函館市五稜郭町 26-1. 市電五稜郭公園前から徒歩15分. <http://www.lib-hkd.jp/shisetsu/center.html> TEL [0138] 35-6800 (会場) 須山 聡 (幹事補佐))

議題 初めての研究会, 鉄道, 車々間・路車間通信, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

21日午前 初めての研究会 1

- 隠れマルコフモデルに基づくアレーアンテナを用いた位置推

定法 ○稲富悠介・洪 志勲・大槻知明 (慶大)

2. マルチセル環境下におけるシングルキャリア MIMO 空間多重/ダイバーシチ切り替え法の検討

○長岡 諒・熊谷慎也・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

3. Sphere Decoding を用いた符号化 MIMO 空間多重における尤度生成に関する検討 ○鏑木拓磨・落合秀樹 (横浜国大)

初めての研究会 2

4. MMSE-SIC を用いた上りリンク非直交多元接続におけるセル間干渉を考慮した送信電力制御法の一検討

○遠藤勇気 (東京理科大)・岸山祥久 (NTT ドコモ)・樋口健一 (東京理科大)

5. SIC を用いた下りリンク非直交多元接続におけるユーザ間送信電力割り当て法の検討 ○大田尾 渚 (東京理科大)・岸山祥久 (NTT ドコモ)・樋口健一 (東京理科大)

6. SIC を用いた下りリンク非直交多元接続におけるフラクショナル周波数繰り返し適用効果 ○梅原純平 (東京理科大)・岸山祥久 (NTT ドコモ)・樋口健一 (東京理科大)

21 日午後 初めての研究会 3 (13:10~)

7. チャンネル状態情報が一部欠損したときの適応的干渉許容制御を用いた階層型部分的非直交ブロック対角化基地局間連携マルチユーザ MIMO 伝送法 ○大島佑介 (東京理科大)・ベンジャブール アナス (NTT ドコモ)・樋口健一 (東京理科大)

8. フラクショナル周波数繰り返しを用いたヘテロジニアスネットワーク下りリンクにおける自律分散型接続セル選択法

○小泉鉄之祐・樋口健一 (東京理科大)

9. ヘテロジニアスネットワークにおける分散型 Q-Learning を用いた Cell Range Expansion

○工藤聡倫・大槻知明 (慶大)

10. 適応無線通信システムのための MIMO 伝搬シナリオ識別手法に関する一検討 ○引山裕貴 (北大)・吉澤真吾 (北見工大)・時 暁楠・宮永喜一 (北大)

RCS1

11. 無線 LAN アクセスポイントにおけるトラフィック集約によるスリープ制御方式の検討

○後藤弘明・秋元 守・黄 俊翔・飯塚正孝 (NTT)

12. 干渉波環境下での再送制御機能の実証的考察

○渡辺正浩・井関利之 (三菱電機)

13. 複数基地局と受信ビーム制御を用いた低速フェージング環境における下りリンク受信性能向上に関する一検討

○塚本 薫・加藤泰典・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

RCS2

14. 高速移動向け MIMO-OFDM テストベッドの性能評価

○大橋章範・村 淳太郎・西本 浩・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

15. LTE-Advanced 下りリンク 4-by-2 MU-MIMO の送信アンテナ配置を考慮した屋内実伝搬スループット特性評価

○柿島佑一・川村輝雄・岸山祥久 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・安藤英浩 (NTT ドコモ)

16. LTE-Advanced 下りリンクにおけるシステムレベル評価に向けた干渉抑圧合成受信器のリンク性能モデリングに関する検討

○佐野洋介・大渡裕介・三木信彦・森本彰人・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

招待講演

17. [招待講演] 回想: デジタル移動通信技術
赤岩芳彦 (電通大)

22 日午前 RCS3

1. 周波数領域等化を用いる DFT-Precoded OFDMA における周波数ダイバーシチ効果の検討

トウ煉軍 (東京都市大)・川村輝雄 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・○佐和橋 衛 (東京都市大)

2. DFT-Precoded OFDMA における低レートターボ符号を用いたときの判定帰還チャネル推定のブロック誤り率特性

○美和啓太 (東京都市大)・三木信彦・川村輝雄 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

3. 送受信協調 MMSE フィルタリングを用いるシングルキャリア MIMO 空間多重における HARQ スループット

○熊谷慎也・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

初めての研究会 4

4. 判定指向形位相雑音補償を用いる 10 Gbps ミリ波 OFDM 伝送実験系の構成と特性

○申 東訓・須山 聡・鈴木 博・府川和彦 (東工大)

5. 2 ホップ再生中継伝送における統合復号法に関する一検討

○野川裕一郎・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

6. 無線 LAN ネットワークにおけるチャンネル棲み分けに基づく動的チャンネル配置の適用効果

○松村祐輝・熊谷慎也・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

7. 細粒度並列処理を用いた MU-MIMO プリコーディング回路の高速化手法の提案

○島崎貢佑 (北大)・吉澤真吾 (北見工大)・畑川養幸・松本知子・小西 聡 (KDDI 研)・宮永喜一 (北大)

22 日午後 初めての研究会 5 (13:20~)

8. 非同期送信のセルフフィッシュ DSC を用いた自律型グルーピング手法に関する一検討

○奥山達樹・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

9. クラスタツリーユビキタスネットワークにおけるエンドノード間干渉の分析

○高 成源 (東大)・山尾 泰 (電通大)

10. 制御メッセージの伝送誤りを考慮した環境認識経路バイパス法の特性評価

○大竹健太・山尾 泰 (電通大)

11. シェドウィング環境での統合ダイナミックマルチホップパケット伝送法 (IDMH) の効果

○松澤祐貴・山尾 泰 (電通大)

RCS4

12. 交差道路における CSMA/CA ブロードキャスト ITS 通信の packets 受信成功率

松中貴彦・○山尾 泰 (電通大)

13. フェージング環境におけるホップ間干渉を考慮した CSMA/CA マルチホップネットワークの性能評価

○戴 競擇・山尾 泰 (電通大)

14. 時空符号化協力中継におけるマルチホップ伝送特性の実験評価

○宮越 淳・村田英一・吉田 進・山本高至 (京大)・梅原大祐 (京都工繊大)・

田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)

RCS5

15. マルチリレーアナログネットワーク符号化を用いるシングルキャリア双方向中継通信における送受信協調 MMSE-FDE に関する一検討

○宮崎寛之・小原辰徳・安達文幸 (東北大)

16. RTL Design of 1.3 Gbps Multi-User MIMO System for IEEE 802.11ac

○Leonardo Lanante・Shogo Fujita・Yuji Yokota・Yuhei Nagao・Masayuki Kurosaki・Hiroshi Ochi (Kyushu Inst. of Tech.)

◎21 日研究会終了後、懇親会を予定していますので是非御参加下さい。また 22 日研究会終了後、初めての研究会表彰式を行

います。

☆RCS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月19日(木), 20日(金) 岩手大〔締切済〕テーマ: 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般

8月30日(木), 31日(金) 高知市〔6月11日(月)〕テーマ: 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

須山 聡 (東工大)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

○最新情報は, RCS研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/rcs/jpn/>

★MEとバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

日時 6月22日(金) 9:30~17:15

会場 北海道大学情報科学研究科情報棟11階大会議室(札幌市北区北14条西9丁目。地下鉄南北線:北12条駅下車, 徒歩10分。または北18条駅下車, 徒歩15分。JR札幌駅から徒歩20分。 <http://www.ist.hokudai.ac.jp/access/> TEL [011] 706-6157 工藤信樹)

議題 ME, 一般

MBE-1. Multi-Linear Subspace Learning Methods for Computational Anatomy Yen-Wei Chen (Ritsumeikan Univ.)

MBE-2. 上肢運動における視空間外乱の影響

○渡辺達哉・月澤拓哉・佐多正至・高橋 誠 (北大)

MBE-3. 多チャンネル表面筋電図における伝播波の距離の検討

○赤堀貴博・板倉直明・水戸和幸 (電通大)

MBE-4. 多チャンネル表面筋電図における伝播波の経時的変化及び負荷変化に関する検討

○小菅智裕・板倉直明・水戸和幸 (電通大)

MBE-5. ネックバンド型マイクロフォンによる高齢者の咳嗽の無拘束モニタリング—MSP430搭載カードサイズのデータ収集システム—

○道幸成久・辻村 肇・松村雅史 (阪電通大)

MBE-6. 心電図センサと光電脈波センサを配置したネックバンドによる脈波伝播時間の計測

○池田志帆・石村仁志・松村雅史 (阪電通大)

午後(13:10~)

MBE-7. ナノテラセンサを用いた視線移動及びWink検出の検討

○風間裕也・板倉直明・水戸和幸 (電通大)

MBE-8. 3軸加速度計を使用した振戦計測・解析システムの精度評価

○守田憲崇 (北海道工大)・飯塚高浩 (北里大)・山下政司・北間正崇・有澤準二・清水久恵 (北海道工大)・鶴田陽和・竹内昭博・池田憲昭 (北里大)

MBE-9. 怒り刺激時の生体応答と主観評価の相関

○山下政司・守田憲崇・北間正崇・有澤準二・清水久恵 (北海道工大)

MBE-10. 歩行運動制御における脳深部の役割: MRIを用いた脳機能計測

○豊村 暁・栗城眞也 (東京電機大)

MBE-11. 局所性ジストニアにおける脳波スペクトル解析

○橋本泰成 (北見工大)・大田哲生 (旭川医科大)

12. 没入型バーチャル環境 HoloStage (TM) における視差量とバーチャル酔いの関連に関する検討—第三報—

○濱本和彦・ジンジャカム チョンブーヌット (東海大)

13. UHF帯パッシブRFIDタグによる小型ME機器の院内所在管理

○保坂良資 (湘南工科大)・室橋高男 (札幌医大)

14. 医療用RFIDタグを利用した手術器械の管理システムの開発と洗浄効果

○山下和彦 (東京医療保健大)・楠田佳緒 (お茶の水女子大)・田中聖人・徳田洋子 (京都第二赤十字病院)・清水応健 (イヌメディックス)・神田良平 (乾商事)・本田 宏・小美野 勝 (済生会栗橋病院)・太田裕治 (お茶の水女子大)・大久保 憲 (東京医療保健大)

15. 高齢者の転倒予防のための足圧計測デバイスの開発と歩行機能評価

○中嶋香奈子・安在絵美 (お茶の水女子大)・岩上優美 (東京医療保健大)・齋藤倫子 (お茶の水女子大)・井野秀一 (産総研)・伊福部 達 (東大)・山下和彦 (東京医療保健大)・太田裕治 (お茶の水女子大)

◆電気学会; 医用・生体工学研究会連催, 日本生体医工学会; MEとバイオサイバネティクス研究会共催

☆MBE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月13日(金) 岡山大〔締切済〕テーマ: ME, 一般

9月27日(木) 信州大〔7月19日(木)〕テーマ: ME, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

吉村奈津江 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-R2-15

TEL & FAX [045] 924-5054

E-mail: yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博

幹事 梅村浩之・洪井 進

幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 6月30日(土) 13:00~17:00

7月 1日(日) 10:15~16:10

会場 室蘭工業大学教育・研究9号館 V棟1階VRシアター (新千歳空港から東室蘭駅までJRで1時間, 東室蘭駅からタクシーで約10分。 http://www.muroran-it.ac.jp/access_map.html <http://www.muroran-it.ac.jp/syomu/gaiyo/haitizu.html> TEL [0143] 46-5433 寺本 涉)

議題 「実・バーチャル空間の知覚・認知」及びヒューマン情報処理一般

30日

1. バーチャル・リアリティ環境における他者の存在感の計測

○寺本 涉・松浦雄斗 (室蘭工大)・浅井暢子 (京大文教大)

2. 移動経験が空間表象の獲得と使用に及ぼす影響

○中村真理香・菱谷晋介 (北大)

3. 個性を考慮した仮想空間における個人行動の生成

○田中研介・向井信彦 (東京都市大)

4. [招待講演] 聴覚野での情動情報の表現 高橋宏知 (東大)

5. 風向知覚の角度分解能に対する風速の影響

○中野拓哉・河地祐樹・柳田康幸 (名城大)

6. 幾何学的錯視図形のパラメータチューニングのための Web システム ○平野照比古・谷中一寿 (神奈川工科大)
7. 素人観察者の真珠の質感知覚一美しさ, 光沢感, 色沢感の関係 ○柳瀬 香・谿 雄祐・永井岳大・鯉田孝和・中内茂樹・北崎充晃 (豊橋技科大)

7月1日午前

1. 周辺視ディスプレイと身体動揺を利用した歩行者の誘導 ○渡邊紀文・大森隆司 (玉川大)
2. 視覚刺激運動の円滑性が視覚誘導性自己運動知覚に及ぼす影響 中村信次 (日本福祉大)
3. 選択の自由を侵害した場合における視覚的な誘導刺激の影響 ○古賀恭子 (九大)・北島律之 (兵庫大)・竹田 仰 (九大)
4. 視覚及び前庭・体性感覚情報の時間的不一致が自己運動知覚に及ぼす影響 ○笠原悠司・金子寛彦 (東工大)

7月1日午後 (13:25~)

5. 跳躍眼球運動前後における形状変化とそれに基づいた表情変化の知覚閾値の比較 ○伊波 慧・金子寛彦 (東工大)
6. リアルタイムな表情変形フィードバックによる快・不快感情の喚起の検討 ○吉田成朗・櫻井 翔・鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝 (東大)
7. 差動皮膚応答による空間的注意位置関連領野の同定: fNIRS による研究 ○原澤賢充 (NHK)・南部政智・北崎充晃 (豊橋技科大)・石金浩史 (専修大)
8. 物体への注意配分の減少が物体の運動予測に与える影響―遮蔽後物体の移動距離の見越しに関して― ○新井健之 (高千穂大)・藤田欣也 (東京農工大)・竹市 勝 (国士館大)
9. Color constancy under special illuminant changes on red-green color deficient observers ○Ruiqing MA・Keizo Shinomori (Kochi Univ. of Tech.)
10. 知能的カラー画像変換による視認性補償システム ○鈴木雅洋・塚本 昇・岩元健治・岡嶋克典 (横浜国大)

◆日本バーチャルリアリティ学会; VR 心理学研究委員会共催

—東北支部における開催—

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 吉田和悦

幹事 山田健一郎・根本広明 幹事補佐 稲葉信幸・小出大一

日時 6月14日 (木) 13:30~17:00

15日 (金) 9:30~12:00

会場 東北大学電気通信研究所 2号館 4階大会議室 (仙台市青葉区片平 2-1-1, 仙台駅より徒歩約 20 分. <http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml> 村岡裕明)

議題 記録システム, 一般

14日

MR-1. BPM 記録再生系における Non-binary LDPC 符号化に対するシンボルごとのターボ等化の一検討

仲村泰明・○上田 純・岡本好弘・大沢 寿 (愛媛大)・青井 基・村岡裕明 (東北大)

MR-2. ナノコンタクト MR 再生素子のポテンシャルに関する考察 ○高岸雅幸・橋本 進・岩崎仁志 (東芝)

MR-3. シールド型 MR ヘッドの高密度再生応答特性とそのパラメータ依存性 ○松浦希望 (東北大)・

第一種研究会開催案内

三浦健司 (岩手大)・村岡裕明 (東北大)

MR-4. 表面酸化層導入によるアモルファス TbFeCo 層上での FeCo 結晶配向制御

○久保田雄紀・宮本尚明・中川茂樹 (東工大)

MR-5. Co/Pt ナノドットを用いたマイクロ波アシスト磁化反転 ○岡本 聡・菊池伸明・古田正樹・北上 修・

島津武仁・青井 基 (東北大)

MR-6. [招待講演] エネルギーアシスト記録: 熱補助記録とマイクロ波アシスト記録の比較

○サイモン グリーブス (東北大)・金井 靖 (新潟工科大)・村岡裕明 (東北大)

15日

MR-1. Nd₂Fe₁₄B/a-Fe 界面における交換結合の評価

○小川大介・小池邦博 (山形大)・水上成美・大兼幹彦・安藤康夫・宮崎孝道 (東北大)・加藤宏朗 (山形大)

MR-2. L10 及び L11 規則合金膜を被覆した磁気力顕微鏡探針の空間分解能と反転磁界

○石原慎司・大竹 充・二本正昭 (中大)

MR-3. Co 単結晶薄膜の強磁性共鳴線幅と結晶構造との関係

坂本雅人・○稲葉信幸 (山形大)・大竹 充・二本正昭 (中大)

MR-4. [招待講演] ギルバート緩和の理論と計算

佐久間昭正 (東北大)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催

☆MR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月19日 (木), 20日 (金) 茨城大日立キャンパス [締切済] テーマ: 記録媒体, 一般

◎最新情報は, MR 研究会ホームページを御覧下さい.

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田典典

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司

幹事 平野 章・斎藤恒聡

★フォトニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

◎本研究会は NS 研究会と OCS 研究会, PN 研究会の併催です. 研究会資料は各研究会ごとに発行されます.

日時 6月21日 (木) 9:00~18:00

22日 (金) 9:00~18:15

会場 山形大学米沢キャンパス (米沢市城南 4-3-16, JR 米沢駅前から白布温泉行きバス (約 10 分) で城南二丁目下車, 徒歩 3 分. JR 米沢駅前から市街地循環バス右回り (青色のバス) (約 10 分) で山大正門前下車, JR 米坂線: 南米沢駅前から徒歩約 5 分. <http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/you/modules/common14/index.php?id=4#yone> 高野勝美)

告 17

議題 コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS, ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・スイッチング・ルーチング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

21 日午前

NS-1. MANET 用ゾーン型ルーティングプロトコル EZRP の実装と性能評価 ○長内春樹・小山明夫 (山形大)

NS-2. Schemes for Black-Box Phase Regeneration Using Phase Sensitive Amplifiers based on PPLN Waveguides

○Benjamin J Puttnam (NICT)・Aron Szabo・Daniel Mazroa (BME)・Satoshi Shinada・Naoya Wada (NICT)

NS-3. フロー単位の転送制御を利用したレイヤ 2 ネットワーク間のマルチパス接続 ○明石和陽・吉田 寛 (NTT)

NS-4. 負荷を考慮した無線メッシュネットワーク用マルチキャストルーティングプロトコルの性能評価

○大江潔昂・小山明夫 (山形大)

PN-5. 光パス長を短縮する BitTorrent over Optical Network の提案 ○成川雄也・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

PN-6. トランスポートネットワークにおいてスーパーチャネル信号光を活用した省電力手法に関する一検討

○吉兼 昇・釣谷剛宏 (KDDI 研)

PN-7. 光 L2 スイッチネットワークの提案

○服部恭太・中川雅弘・君島直樹・片山 勝・三澤 明・平松 淳 (NTT)

PN-8. Challenges in Coherent Optical Packet Switching

○Jose Manuel Delgado Mendinueta・Satoshi Shinada・Naoya Wada (NICT)

21 日午後 (13:30~)

OCS-9. 商用敷設ファイバから構成されるフィールド環境における 40G/100G 混在 PDM-QPSK リアルタイム DWDM 伝送特性評価 ○山本秀人・乾 哲郎・川上広人・山中祥吾・坂野寿和・河合武司・小野 隆・岩城亜弥子・中川匡夫 (NTT)・小谷川 喬 (NTT コミュニケーションズ)

OCS-10. リアルタイム信号処理技術を用いた受信端全波長分散補償 127 Gb/s PM-QPSK 信号光長距離伝送

○有川 学・岡本健志・ル タヤンディエ ドウ ガボリ エマニユエル・小笠原大作・伊東俊治・福知 清 (NEC)

OCS-11. ダイナミック適応型フォトニックノードにおける再構成可能トランスポンダ構成法の検討

○手島光啓・久留賢治・北村 圭・山田義朗・石田 修 (NTT)

OCS-12. 偏波間差動位相を用いた 16 値変復調方式

神尾享秀 (NICT)

OCS-13. 光サブキャリア変調を用いた周波数変換技術

○加藤智行・岡部 亮 (富士通研)・Robert Elschner・Thomas Richter (HHI)・Colja Schubert・渡辺茂樹 (富士通研)

招待講演

共通-14. [チュートリアル招待講演] グリーンネットワークと光技術 佐藤健一 (名大)

共通-15. [招待講演] 100GE over OTU4 インタフェースを用いた異ベンダ間相互接続性検証実験

○片桐 徹 (富士通研)・鈴木宏幸・齋藤 悟・阿部秀朗 (富士通)・吉原知樹・田島 勉・大田守彦 (NEC)・鷹取耕治・竹内浩史 (日立)・木部浩一・古家 隆 (7/17)

共通-16. [招待講演] マルチレイヤ・マルチグラニュアリティな光ネットワークにおける OpenFlow ベース統合制御プレーン技術に関する一検討

○劉 雷・釣谷剛宏・森田逸郎 (KDDI 研)

22 日午前

NS-1. [奨励講演] 二重故障環境下で IP Fast Rerouting を実現する予備トポロジー設計法の提案

○鎌村星平 (NTT/早大)・島崎大作・平松 淳 (NTT)・中里秀則 (早大)

NS-2. 柔軟な論理トポロジー変更を可能とするアムバノード構成法 ○小浜守太・多田憲司・戸出英樹 (阪府大)

NS-3. 制限時間付き大容量ファイルダウンロードのための動的帯域割り当て方式 ○勝元 健・木下和彦 (阪大)・山井成良 (岡山大)・村上孝三 (阪大)

NS-4. コンテンツ指向型トラヒックエンジニアリング手法の提案

○三原大輝・井町大輝・山本 幹 (関西大)・宮村 崇・塩本公平・平松 淳 (NTT)

OCS-5. SBS 抑圧 PM-HNLF モジュールの開発

○高橋正典・高坂繁弘・権田智洋・杉崎隆一 (古河電工)

OCS-6. 非線形ファイバループミラーを用いた 1.1 μm , 160 Gbit/s OTDM 信号の多重分離

○小泉健吾・廣岡俊彦・吉田真人・中沢正隆 (東北大)

OCS-7. リンク間の波長数を均一化した波長群光ネットワークにおけるスイッチ規模低減効果の検討

○高野勝美・軽部 良・齋藤慶太・伊藤智博・中川清司 (山形大)

OCS-8. 数モードファイバと簡略化判定帰還型等化器を用いた MIMO 伝送の検討

○坂本泰志・森 崇嘉・山本貴司・富田 茂 (NTT)

22 日午後 (13:30~)

PN-9. 計算量を削減した自己組織型仮想制御手法の性能評価

○水元宏治・荒川伸一・小泉佑揮 (阪大)・島崎大作・宮村 崇・鎌村星平・塩本公平・平松 淳 (NTT)・村田正幸 (阪大)

PN-10. シグナリング並列化によるドメイン間高速パス制御方式

○飯澤洋平・荒木壮一郎 (NEC)

PN-11. 光パケット・光パス統合ネットワークにおける障害に対してロバストな自律分散制御機構

○宮澤高也・古川英昭・原井洋明・和田尚也 (NICT)

PN-12. エラスティック光パスネットワークにおける RMLSA アルゴリズムの一検討

○橋本竜也・馬場健一・下條真司 (阪大)

PN-13. All-optical NRZ-OOK to Manchester modulation format conversion ○Bo Dai (HWU)・Satoshi Shimizu (NICT)・Xu Wang (HWU)・Naoya Wada (NICT)

PN-14. 大規模災害時でも利用可能な情報通信ネットワークに関する一考察 坂野寿和 (NTT)

NS-15. [奨励講演] BPEX: Improving The BitTorrent Locality via Biased Peer Exchange

○Masahiro Yoshida・Akihiro Nakao (Univ. of Tokyo)

NS-16. フロースペース仮想化による仮想 OpenFlow ネットワークの実現 ○山中広明・石井秀治・河合栄治 (NICT)

NS-17. Attractor Selection-based Virtual Network Topology Control with Dynamic Threshold Reconfiguration for Managed Self-organization Network ○Shohei Kamamura (NTT)・Yuki Koizumi (Osaka Univ.)・Daisaku Shimazaki・Takashi Miyamura (NTT)・Shin'ichi Arakawa (Osaka Univ.)・Kohei Shiomoto・Atsushi Hiramatsu (NTT)・Masayuki Murata (Osaka Univ.)

NS-18. RTT を用いたエンドツーエンドの可用帯域推定法の提案と実ネットワークへの適用性の評価

○今井雅晴・杉崎義雄・水野 修・浅谷耕一 (工学院大)

NS-19. 協力的ユーザを考慮したユーザ間対等受付制御の提案 (即時待時混合モデル) ○宮田純子 (神奈川大)・山岡克式 (東工大)・木下宏揚 (神奈川大)

◎21 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 19 日 (木), 20 日 (金) 岩手大 [締切済] テーマ: 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散 MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般

9 月 20 日 (木), 21 日 (金) 東北大 [未定] テーマ: ポスト IP ネットワーキング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラフィック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は、NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 26 日 (木) ニューウェルシティ湯河原 [締切済] テーマ: 【光通信機器】光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用 LSI, 誤り訂正, 一般

8 月 30 日 (木), 31 日 (金) サンリフレ函館 [6 月 15 日 (金)] テーマ: 【光ファイバ伝送路】光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

佐々木 隆 (住友電工)

第一種研究会開催案内

TEL [045] 853-7172, FAX [045] 851-1565

E-mail: ocscom@info.sei.co.jp

◎OCS ホームページ:

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では、2007 年より「光通信システム研究会 奨励賞」及び「光通信システム研究会 論文賞」を設立しました。毎年 9 月～翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し、翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい。

☆PN 研究会

【問合せ先】

大木英司 (電通大)

TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926

E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641

E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

—東海支部における開催—

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄
幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

日時 6 月 8 日 (金) 9:30~16:00

会場 ヤマハ本社 18 号館 1 階研修室 1, 2 (浜松市中区中沢町 10-1. 遠州鉄道: 八幡駅から徒歩 3 分. 入門時に守衛にお立ち寄り頂き受付をお願いします。 http://www.yamaha.co.jp/pdf/cor/inf/map_train.pdf TEL [053] 460-2580 奥村 啓) 議題

1. 音楽聴取時の全身振動と聴覚のマルチモーダル情報処理
阪梨英樹 (ヤマハ)
2. Perceptual attributes associated with auditory images reproduced via virtually elevated loudspeakers
Sungyoung Kim (Yamaha)
3. 数値計算を用いた音像の距離感に関連する物理パラメータの検討
○奥村 啓・金 成英 (ヤマハ)・大谷 真 (信州大)
4. 球状スピーカアレイを用いた放射特性制御のシミュレーション
○林 貴哉・宮部滋樹・山田武志・牧野昭二 (筑波大)
5. Swept-Sine 信号を用いたスピーカの動的歪み測定法
○佐々木 徹・高田寛太郎・中島平太郎 (ビフレッタ)
6. アレイ制御を用いた指向性可変なパラメトリックスピーカ
武岡成人 (静岡理工科大)

午後 (13:15~)

7. ケプストラムドメインメディアンフィルタリングによる音楽信号の調波音・非調波音分解の検討
○高橋 祐・近藤多伸・橋本誠一 (ヤマハ)
8. ユーザ動作に伴う雑音を含む非可聴つぶやき音声におけるブラインド音声抽出
○糸井三由希・宮崎亮一・猿渡 洋・戸田智基・鹿野清宏 (奈良先端大)
9. 高次モーメント分析に基づく非線形 MUSIC による劣決定方向推定
○杉本侑哉・宮部滋樹・山田武志・牧野昭二 (筑波大)
10. スペクトル減算型音声強調方法におけるミュージカルノイズ抑圧方法
○藤枝 大・矢頭 隆 (OKI)

11. 多チャンネルウィナーフィルタを用いた音源分離における
スパースモデルと最小二乗誤差モデルの性能比較

○坂梨龍太郎・宮部滋樹・山田武志・牧野昭二 (筑波大)

12. 様々な非線形音声強調法におけるミュージカルノイズ発生量
の数理指標

○金原涼美・宮崎亮一・猿渡 洋・
鹿野清宏 (奈良先端大)・近藤多伸 (ヤマ)

◆日本音響学会；電気音響研究会共催

◎研究会終了後 16:00-16:45 に見学会, 17:30 から懇親会を
開催しますので、是非御参加下さい。

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月19日(木), 20日(金) 北海道医療大〔締切済〕テ
マ: 応用(電気)音響, 音楽音響, 聴覚, 一般

8月 仙台市内〔未定〕テーマ: 音響信号処理, 聴覚, 一般

9月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

戸上真人 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 6月21日(木) 9:00~18:00

会場 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3階ベン
チャーホール(名古屋市中種区不老町。地下鉄名城線:名古屋
大学駅から徒歩5分。 [http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/ac
cess/index.html](http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access/index.html) TEL [052] 789-3588 宮崎誠一)

議題 ゲート絶縁薄膜, 容量膜, 機能膜及びメモリ技術

1. Pt/SiO_x/TiN ダイオード構造の化学構造分析と電気抵抗ス
イッチング特性評価 ○福岡太紀 (名大)・

大田晃生 (広島大)・牧原克典・宮崎誠一 (名大)

2. 貼り合せ直接接合 SrTiO₃(001) 基板を用いた抵抗スイッチ
ング特性評価 ○浅田遼太・Pham Phu Thanh Son・

Kokate Nishad Vasant・吉川 純・竹内正太郎・
中村芳明・酒井 朗 (阪大)

3. Si量子ドット/NiSiナノドットハイブリッド積層フローテ
ィングゲートMOS構造における光励起キャリア移動

○池田弥央 (広島大)・牧原克典・宮崎誠一 (名大)

4. リステリア Dps を利用したナノドット型フローティングゲ
ートメモリの作製 ○上武央季・上沼陸典・鄭 彬・

石河泰明・山下一郎・浦岡行治 (奈良先端大)

5. 極薄 GeON 膜を用いた高移動度 Ge MOSFET の作製と電気特
性評価 ○箕浦佑也・糟谷篤志・細井卓治・

志村考功・渡部平司 (阪大)

6. Al₂O₃/Ge 構造への酸素熱処理及び酸素ラジカル処理による界
面反応機構の解明 ○柴山茂久・加藤公彦・坂下満男・

竹内和歌奈・田岡紀之・中塚 理・財満鎮明 (名大)

7. TaO_x 層挿入による HfO₂/Ge 界面反応制御

○村上秀樹・三嶋健斗・大田晃生・

東 清一郎 (広島大)・宮崎誠一 (名大)

8. ゲート電極の還元性が Ge 基板上 Pr 酸化膜の Pr 価数に与え
る影響 ○加藤公彦・坂下満男・竹内和歌奈・

田岡紀之・中塚 理・財満鎮明 (名大)

9. TiN 電極中の酸素に起因した Hf 系 High-k ゲート絶縁膜の特
性劣化 ○細井卓治・大嶽祐輝・有村拓晃・力石薫介・

北野尚武・志村考功・渡部平司 (阪大)

10. (TaC) 1-xAlx/HfO₂/SiO₂ ゲートスタックで熱処理温度に
対する Al 原子の評価 ○木村将之 (芝浦工大)・

生田目俊秀 (物質・材料研究機構)・

山田博之 (芝浦工大)・大井暁彦・成島利弘・

知京豊裕 (物質・材料研究機構)・大石知司 (芝浦工大)

午後 (13:35~)

11. 第一原理計算によるゲルマニウム表面でのドーパント不純物
偏析挙動の解析 ○飯島郁弥 (東京都市大)・

牛尾二郎 (日立)・丸泉琢也 (東京都市大)

12. 極薄層挿入による Al/Ge 接合の伝導特性制御

○大田晃生・松井真史・村上秀樹・

東 清一郎 (広島大)・宮崎誠一 (名大)

13. 金属/(Si/Ge) 界面の構造乱れと SBH 変調の関係: 第一原理
計算による理論的検討 ○小日向恭祐・中山隆史 (千葉大)

14. As⁺ イオン注入した Ge(100) の化学分析

○小野貴寛・大田晃生・村上秀樹・

東 清一郎 (広島大)・宮崎誠一 (名大)

15. 極浅接合における異なる化学結合状態を持つ不純物の検出と
その深さ方向プロファイル評価 ○筒井一生・金原 潤・

宮田陽平 (東工大)・野平博司 (東京都市大)・

泉 雄大・室 隆桂之・木下豊彦 (高輝度光科学研究センター)・

パールハット アヘメト・角嶋邦之・

服部健雄・岩井 洋 (東工大)

16. エピタキシャル NiSi₂ ソース/ドレインにおける原子層オー
ダーの接合位置制御及びドーパント偏析によるショットキーバ
リアハイトの低減

○水林 亘・右田真司・森田行則・太田裕之 (産総研)

17. シリコンナノワイヤへの不純物ドーピングと不純物の挙動—
熱酸化過程での偏析挙動—

○深田直樹 (物質・材料研究機構)・滝口 亮・

石田慎哉・横野茂樹 (筑波大)・

関口隆史 (物質・材料研究機構)・村上浩一 (筑波大)

18. 微細 3 次元デバイスに向けたシリサイドショットキー S/D
の界面制御方法の提案 ○田村雄太・吉原 亮・

角嶋邦之・パールハット アヘメト・片岡好則・

西山 彰・杉井信之・筒井一生・

名取研二・服部健雄・岩井 洋 (東工大)

19. 微細 InGaAs MOSFET に適用可能な極薄 Ni-InGaAs 合金コ
ンタクトの形成とその熱的安定性

○入沢寿史・小田 稔・手塚 勉 (産総研)

20. TiN/Ge コンタクトにおけるフェルミレベルピンニング変調
と MOS デバイスへの応用

○山本圭介・井餘田昌俊・王 冬・中島 寛 (九大)

21. ダイヤモンド半導体/金属界面の電気特性制御

○松本 翼 (筑波大)・加藤宙光・小倉政彦・

大串秀世・山崎 聡 (産総研)

◆応用物理学会；シリコンテクノロジー分科会共催

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆SDM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月27日(水)~29日(金) 沖縄県青年会館 テーマ: 2012
先端半導体デバイスの基礎と応用に関するアジア太平洋ワー
クショップ

8月2日(木), 3日(金) 札幌市男女共同参画センター〔締切済〕
テーマ: 低電圧/低消費電力技術, 新デバイス・回路とその応用

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人

幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 6月23日(土) 12:55~17:15

会場 名古屋大学1B電子情報館南棟295室(名古屋市千種区不老町。地下鉄名城線:名古屋大学駅3番出口前。http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/access/ 渡辺豊英)

議題 教育・学習支援に対する新展開/一般

1. Selecting Strategy of Learning Units in English Grammar Learning System ○Ayse Saliha Sunar (Nagoya Univ.)・Yuki Hayashi (Seikei Univ.)・Toyohide Watanabe (Nagoya Univ.)
2. 授業と自主練習とを連動させた日本語入力練習 Web システムの開発 ○廖 宸一(中部大)・武岡さおり・箕浦恵美子(名古屋女子大)・尾崎正弘(中部大)
3. 統計量を説明する能力の向上のための対話型学習支援システム—統計レポート作成を目指して— ○吉根勝美(南山大)・磯本征雄(名古屋女子大)・長谷川 信(岐阜聖徳学園大短大)

IEEE 技術講演会

4. [招待講演] テキストマイニングを用いた授業評価の効率化—テンプレート作成のための実験的検討— 石井成郎(愛知さわかみ看護短大)
5. [招待講演] テキストマイニングを用いた授業評価の効率化—テンプレートを使った実践とその評価— 鈴木裕利(中部大)
6. 習熟度別教材と学習者の関係について—Web 学習実験結果の分析— ○アディカリ チョレンドラ(中部大)・杉村 藍・武岡さおり(名古屋女子大)・宇佐美裕康・尾崎正弘(中部大)
7. 文字データの重ね合わせと DP マッチングを用いた受験者認証法 ○金森春樹(東京理科大)・古田壮宏(奈良教大)・東本崇仁・赤倉貴子(東京理科大)
8. 大学における授業参加意識の遷移行列を用いた授業分析の手法 ○宇治典貞・横山 宏・森石峰一・稲浦 綾・魚井宏高(阪電通大)
9. 発表の目的を考慮したプレゼンテーション・シナリオの構成支援 ○花植康一・渡邊豊英(名大)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 共催

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月28日(土) 東北学院大〔締切済〕テーマ: Web 技術と先端的学習支援/一般

9月29日(土) 岡山理科大〔7月17日(火)〕テーマ: プレゼンテーションにおけるメディアの役割/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

渡辺健次(佐賀大)

TEL [0952] 28-8828 E-mail: watanabe@is.saga-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動

的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

日時 6月29日(金) 11:00~16:45

会場 岐阜大学工学部第一会議室(岐阜市柳戸1-1。交通案内 http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=393, 学内案内 http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=1360 TEL [058] 293-2727 関根敏和)

議題 マイクロ波信号発生と計測技術/一般

1. リング共振器 FET 発振回路の最大 Q ファクタの理論導出 ○ウリントヤ・南 昂孝・崎原孫周・坂井尚貴・大平 孝(豊橋技科大)
 2. ダウンコンバートとアップコンバートを適用したスプリアス抑圧型光マイクロ波発振器 ○水間将支・津留正臣・亀山俊平・安藤俊行(三菱電機)
- 午後
3. 金属ロッド共振器を用いた 60 GHz 帯自己注入同期 NRD ガイドガン発振器 ○黒木太司・中島翔太(呉高専)
 4. 60 GHz 帯自己注入同期 NRD ガイドガン発振器における発振モードジャンプの数値的検討 ○田中智大・黒木太司(呉高専)
 5. C 帯 220 W 高効率 GaN 増幅器 ○前原宏昭・山中宏治・小坂尚輝・西原 淳・川嶋慶一・中山正敏(三菱電機)
 6. 複素減衰極による結合形フィルタの群遅延特性改善 ○村澤光一・関根敏和・高橋康広(岐阜大)
 7. 損失不均一媒質多線状結合線路の時間領域モード分解の考察 ○関根敏和・前田 登・高橋康宏(岐阜大)
 8. FR-4 基板を用いた BIT ラインにおける基本モード及び高次モードのミリ波伝送特性 ○井上晋吾・黒木太司(呉高専)
 9. 漏れ信号を利用した送受アンテナ共用 FMCW レーダ一位相特性の影響と補正方法の検討 ○鴨田浩和・津持 純・杉之下文康(NHK)

◆IEEE MTT-S Nagoya Chapter 共催。IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter 協賛

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(木), 27日(金) 北大〔締切済〕テーマ: マイクロ波フォトンクス技術, 一般

9月27日(木) KDDI 研〔7月10日(火)〕テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

鴨田浩和(NHK)

TEL [03] 5494-3460, FAX [03] 5494-3208

E-mail: kamoda.h-ci@nhk.or.jp

加屋野博幸(東芝)

TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801

E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 上田修功 副委員長 鷲尾 隆・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

期日 6月19(火), 20日(水)

会場 京都キャンパスプラザ

議題

○最新情報は, <http://ibisml.org/ibisml009> に掲載します。

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 6月22日(金) 10:00~17:00

会場 大阪大学吹田キャンパス(吹田市山田丘1-1. 阪急電車千里線:北千里駅(終点)下車, 東へ徒歩. 大阪モノレール:阪大病院前駅下車徒歩約5~15分. 阪急バス:千里中央発「阪大本部前行」[「茨木美穂ヶ丘行」, 北千里発「阪大病院線」または近鉄バス:阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR 茨木駅経由)いずれも, 阪大医学部前または阪大本部前下車, 徒歩約5~15分. <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access> TEL [06] 6879-7709 舟木 剛)

議題 EMC, 一般

1. 電流プローブにおける伝達インピーダンスの高精度計測手法に関する検討 ○関口秀紀・舟木 剛 (阪大)

EMCJ-2. 非接地導体を有するパッケージ用いたLSI電源系コモンモードノイズ低減手法

○松嶋 徹・李 愛花・和田修己(京大)

EMCJ-3. 電源回路のコモンモードノイズの解析手法の検討

○嶺岸 瞳・崎山一幸・山田 徹 (パソナ)

EMCJ-4. 電力変換回路の伝導妨害波予測を目的とした線形等価回路モデルの検討—デュアルポート LISN を用いたモデル構築—

○井上修平・五百旗頭健吾・

豊田啓孝(岡山大)・渡辺哲史(岡山県工技センター)

午後(12:45~)

5. 意図的な電磁妨害による暗号モジュールへの故障注入メカニズムに関する検討 ○林 優一・本間尚文・水木敬明・青木孝文・曾根秀昭(東北大)

EMCJ-6. マイクロストリップ線路とスロット間の電磁結合の解析 ○戸花照雄・笹森崇行・磯田陽次(秋田県立大)

EMCJ-7. 測定用パラボラアンテナの校正距離に関する理論的考察 ○藤井勝巳・坂齊 誠・杉浦 行(NICT)

EMCJ-8. プリント配線パターン導体間のESDサージに対するフラッシュオーバー電圧のギャップ長依存性

○岩井 将・坪井浩太郎(九工大)・

稲見 純・平林勝次(富士通テ)・大塚信也(九工大)

EMCJ-9. 背後電極によるプリント基板上フラッシュオーバーの方向制御に関する基礎検討

○稲見 純・平林勝次(富士通テ)・

岩井 将・坪井浩太郎・大塚信也(九工大)

EMCJ-10. キセノンランプ照射時のプリント配線パターン導体間のESDサージに対するフラッシュオーバー電圧特性

○坪井浩太郎・岩井 将・大塚信也(九工大)

EMCJ-11. 静電気放電試験器及び標準雷インパルス電圧源駆動

時のUHF帯放射電磁波特性の充電電圧と伝搬距離依存性

○埋金寿社・芝田拓樹・大塚信也(九工大)

EMCJ-12. [特別講演] 雷放電と積乱雲の高分解能観測技術とその科学 牛尾知雄(阪大)

◆電気学会;電磁環境技術委員会連催. IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会共催. IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

○研究会終了後に懇親会を予定していますので,是非御参加下さい。

☆EMCJ研究会今後の予定 []内発表申込締切日

7月19日(木) 機械振興会館〔締切済〕テーマ:若手研究者発表会

7月20日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ:放電・実装, EMC, 一般

8月 休会

9月7日(金) 北大[7月15日(日)]テーマ:生体, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

青柳貴洋(東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)

〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-W9-110

TEL & FAX [03] 5734-2992

E-mail: emcj@mail.ieice.org

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生
幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

日時 6月28日(木) 9:20~18:10

29日(金) 9:20~14:15

会場 沖縄科学技術大学院大学(国頭郡恩納村字谷茶1919-1.

<http://www.oist.jp/ja> TEL [098] 966-8594 吉本潤一郎)

議題 機械学習によるバイオデータマイニング, 一般

28日午前 一般

NC-1. 追加学習型主成分分析の高速化と顔画像認識への応用

○青木大二郎・小澤誠一(神戸大)

NC-2. Virtual Fitting Room に向けた実画像・深度画像を用いた衣服の特性推定

○松葉有香・船谷浩之・

池田和司(奈良先端大)

NC-3. 細胞形態を反映した階層ベイズ法による細胞の力推定法

○小沢 哲(奈良先端大)・作村諭一(愛知県立大)・

池田和司(奈良先端大)

NC-4. 運動—視覚ダイナミクス学習と線形ベルマン方程式によるロボット制御

○金城 健(奈良先端大)・内部英治・

吉本潤一郎・銅谷賢治(沖縄科技大)

NC-5. 2種類のTD誤差を用いた脳における状態価値の計算モデル

○篠塚正成・森田昌彦(筑波大)

NC-6. ハエ視覚系に存在する再帰的な神経回路の理論解析 II—並進刺激に対する応答特性—

○鈴木力憲(東工大)・

森本高子・宮川義博(東京薬科大)・青西 亨(東工大)

28日午後 合同企画セッション:バイオデータマイニング

NC-7. A model for firing patterns of beta-cell

○Chuying Cui・Kantaro Fujiwara・

Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)・

Masafumi Kakei (Jichi Med. Univ.)

NC-8. PLATO: サブモデルを統合する大規模脳数理モデル構築プラットフォーム ○観音隆幸・稲垣圭一郎・植村浩司・カミジ ニュートン リュウジ・白井支朗 (理研)

NC-9. トップダウンアプローチによる海馬 CA1 ネットワークのシナプス可塑性様式の予測 ○宮田龍太 (東工大)・太田桂輔 (理研)・青西 亨 (東工大)

NC-10. Half-vs-Half 法を適用した選択的不感化ニューラルネットワークによる筋電パターンの多クラス分類 ○堀江和正 (筑波大)・末光厚夫 (北陸先端大)・森田昌彦 (筑波大)

NC-11. サル V1 における方位地図の局所構造と神経細胞の方位選択性の関係: 2 光子カルシウムイメージングによる検討 ○池添貢司・森 理也 (阪大)・喜多村和郎 (東大)・田村 弘・藤田一郎 (阪大)

12. Structure prediction with FAMS for proteins screened critically to autoimmune diseases based upon bioinformatics Shigeharu Ishida・Hideaki Umeyama・Mitsuo Iwadata・○Y-h. Taguchi

13. A Method for Isoform Prediction from RNA-Seq Data by Iterative Mapping ○大野朋重・瀬尾茂人・竹中要一・松田秀雄 (阪大)

14. 3次元画像特徴量を用いた蛋白質分子表面比較 ○車谷奈都実 (神戸大)・大川剛直 (神戸大)

15. 複数の分類器に基づく半教師あり学習を用いた文献からの蛋白質間相互作用抽出 ○小藪 駿・大川剛直 (神戸大)

NC-16. [招待講演] PhysioDesigner を用いた神経系を含む生体生理機能の多階層モデリング並びにシミュレーション 浅井義之 (神縄科技大)

29 日午前 一般講演 (バイオ情報学, A)

1. ヒト大脳組織におけるプロモーターメチル化の個体差 ○大和田美幸・田口善弘 (中大)

2. マウスの胚性幹細胞, 胚性線維芽細胞における次世代シーケンシング発現解析 ○飯島康平・田口善弘 (中大)

3. タンパク質間ドッキング予測における機械学習を用いた目的関数の動的調整 ○藤原隆之・松崎由理・石田貴士・秋山 泰 (東工大)

4. タンパク質間ドッキング予測における実空間での効率的な評価スコア計算方法の研究 ○下田雄大・石田貴士・秋山 泰 (東工大)

5. 簡易疎水性相互作用モデルによるタンパク質間ドッキング予測の高精度化 ○大上雅史・石田貴士・秋山 泰 (東工大)

6. 近隣剪定法: 進化系統樹を利用した配列リサンプリングアルゴリズム ○米澤弘毅 (長浜大)・五十嵐 学・伊藤公人 (北大)

7. DDP を用いた蛋白質の類似構造検索の高速化に関する考察 ○三村賢太・森 康真・高橋誉文・北上 始 (広島市大)

8. 多値論理を用いた生体ネットワークシステムのモデル検査 ○坂本 悠・山本泰生・岩沼宏治 (山梨大)

29 日午後 一般講演 (バイオ情報学, B)

9. Suffix array を用いた高速な配列相同性検索の改良とエビゲノムへの対応 ○鈴木脩司・石田貴士・秋山 泰 (東工大)

10. ハッシュテーブルの分割による de novo アセンブリの改良 ○杉浦典和・石田貴士・関嶋政和・秋山 泰 (東工大)

11. 時系列発現プロファイルのための遺伝子機能グループ解析手法 ○大熊祐太・瀬尾茂人・竹中要一・松田秀雄 (阪大)

◆情報処理学会; バイオ情報学研究会連催. 日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

◎28 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい.
☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 30 日 (月), 31 日 (火) 立命館大 [締切済] テーマ: 一般

【問合先】

小澤誠一 (神戸大)

TEL [078] 803-6466 E-mail: ozawasei@kobe-u.ac.jp

— 今後の予定 —

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹

幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

☆NLP 研究会今後の予定

7 月 5 日 (木) ~ 7 日 (金) 鹿児島県産業会館

◎プログラム等詳細は NLP 研究会ホームページを御参照下さい.

<http://www.ieice.org/ess/nlp/>

【問合先】

高坂拓司 (大分大)

E-mail: takuji@oita-u.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第 4 回超高速光エレクトロニクス研究会

委員長 神成文彦 (慶大)

超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会では, 超高速光デバイス・電子デバイスの開発を加速し, テラビット通信をはじめとする超高速光システムへの応用展開を議論する委員会です. 本委員会では下記研究会の開催を予定しております. 枠は限られておりますが, 招待講演の他に一般講演も募集しますので, 所定の申込先まで御連絡下さい.

日時 平成 24 年 6 月 8 日 (金) 9:00~

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎大会議室 (横浜市港北区日吉 3-14-1. 東急東横線: 日吉駅 徒歩 1 分. <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>)

テーマ: 「新レーザ光源とその応用」

新レーザ技術・新レーザ応用技術をテーマとし, 特に近年応用が急速に広がっている超短光パルスファイバレーザを中心として (ただしファイバレーザに限定はしない), 新光源に関する研究を取り上げる. 高線り返し化, 波長領域の拡大, 多波長同期ファイバレーザ等の光源開発の最新研究成果を報告するとともに, 光コム応用, 誘導ラマン散乱顕微鏡や高分解能 OCT への応用など, 光ファイバレーザの様々な応用先について紹介頂く. これらの御講演から, 新レーザとその応用技術の新しい方向性を議論する. 招待講演者 10 件程度 / 最新プログラムは下記 URL を御参照下さい. <http://www.ieice.org/~femto/jpn/>

一般講演 数件の予定

【参加資格・参加申込】

参加資格 特に設けておりません.

参加費 一般 1,000 円 学生 無料 (当日現金にてお支払い下さい)

【一般講演の申込】

下記連絡先まで6月4日までに電子メールでお問い合わせ下さい。追って必要事項をお知らせ致します。

【問合せ先】

田邊孝純 (慶大)
E-mail: takasumi@elec.keio.ac.jp
西澤典彦 (名大)
E-mail: nishizawa@nuee.nagoya-u.ac.jp
主催 超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会

●第48回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣 (関西大)
期日 平成24年6月8日 (金)
会場 関西大学千里山キャンパス第4学舎3号館4階3401会議室 (吹田市山手町3-3-35, <http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html>)

本研究会はディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などがあげられます。また、ICチップ上の情報システム構築(SOC: System On Chip)技術としては、IC内部の欠陥検出法(テスト手法やBIST: Build In Self Test)や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などがあげられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法もあげられます。

本機能集積情報システム(FIIS)研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第48回機能集積情報システム研究会は、関西大学(吹田市)で開催致します。皆様奮って御参加下さい。

プログラム

- 台形波の高調波除去に基づく正弦波近似回路
肥川宏臣 (関西大)
- ハードウェア自己組織化マップにおける近傍関数の改良
○林 健太郎 (関西大)・山本洗太 (関電システムソリューションズ)・陸橋瑞光・肥川宏臣 (関西大)
- 適応同期シンボルを用いた挿入/削除/反転誤り訂正符号
○井上雅斗・金子晴彦 (東工大)
- セグメント分割伝送線を用いたクロストークノイズ低減の実験検証
○関 勝之・島田弘基・安永守利 (筑波大)
- マルチスキャンとテストポイント挿入によるLOSの微小遅延

故障検出率向上法

- 張 文坡・難波一輝・伊藤秀男 (千葉大)
6. 許容故障に基づく論理回路単純化における許容性判定手続きに関する考察
○亀井惇平・松木伸伍・岩垣 剛・市原英行・井上智生 (広島市大)

◎最新のプログラムはWebページ (<http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/>) を御覧下さい。

◎研究会終了後に懇親会(会費5,000円程度)を予定しております。御参加を希望される方は、下記問合せ先まで御連絡下さい。参加資格 特に制限はありません
参加費 1,000円(会場でお支払い下さい。学生は無料です。)

【問合せ先】

金子晴彦 (東工大大学院情報理工学研究所)
〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-W8-65
TEL [03] 5734-3799, FAX [03] 5734-3501
E-mail: hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp
主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

●平成24年度第1回医療情報通信技術研究会

委員長 井家上哲史 (明大)
期日 平成24年6月13日 (水)
会場 東京工業大学大岡山キャンパス
テーマ 「医療情報通信技術一般」
参加費 一般3,000円(講演資料代を含む)、学生無料(講演資料代は別途2,000円)

プログラム <http://www.ieice.org/~mict/>に掲載されます。

参加方法 事前参加登録は不要です。御参加を希望される方は、当日、会場受付にお越し下さい。

【問合せ先】

金 ミンソク (東工大), 前山利幸 (拓殖大)
E-mail: mict-sec@mail.ieice.org
主催 医療情報通信技術時限研究専門委員会

●短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 原田博司・加藤正文
日時 平成24年6月18日 (月) 9:30~17:30
会場 東北大学東京分室(千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階, <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>) TEL [03] 3218-9612 沢田浩和)

議題 WLAN, WPAN 関連, 一般

- [招待講演] 自律制御型メタマテリアルによる通信環境の制御性について
小塚洋司 (元東海大)
 - ミリ波を用いたワイヤレスストレージシステムの検討及び実装
○高野光司・大庭信之・甲田泰照・中野大樹・山根敏志・片山泰尚 (日本IBM)
 - TG3c ミリ波デバイスシミュレータPHY同期引き込み方式
○丸山哲弘・沼田秀司 (日立JTE)・羽生 広 (日立)
 - TG3c ミリ波デバイスシミュレータMACの開発
○山本浩之・八木隆介 (日立JTE)・羽生 広 (日立)
 - ビームトラッキングシステムの提案と伝送特性
○包 中尉・佐藤雄一・沢田浩和・加藤修三 (東北大)
- 午後
- 奇数素子ビームフォーミングアンテナの提案と特性
○大墨友也・佐藤洋介・沢田浩和・

中瀬博之・加藤修三（東北大）

7. クロスドメインアナライザを用いた簡易なミリ波伝搬測定システムの開発と評価

○沢田浩和・ローレンス マテルム・加藤修三（東北大）

8. [招待講演] ボディエリアネットワークとその標準規格 IEEE 802.15.6 李 還幫 (NICT)

9. [招待講演] IEEE 802.22—TVWS におけるワイヤレスリージョナルネットワークシステム 佐々木重信 (新潟大)

10. [パネルディスカッション] 短距離無線通信のセンサへの応用
司会：加藤修三（東北大）・
パネリスト：李 還幫 (NICT)・佐々木重信 (新潟大)・
原田博司 (NICT)・門 勇一 (京都工繊大)・
島村 博 (イラホクスベリエンス)

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月20日(月) 芝浦工大 [6月18日(月)] テーマ：
WPAN, センサ関連技術, 一般

10月15日(月) NICT 本部 [8月20日(月)] テーマ：
WLAN 関連技術, 一般

12月10日(月) 東京 [10月15日(月)] テーマ：Network,
MAC, Adhoc 関連技術, 一般

2月28日(木) 早大 [12月10日(月)] テーマ：WLAN,
WPAN 関連, 一般

参加費 一般 2,500 円, 学生 1,500 円

【発表申込・問合せ先】

沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail : sawahiro@riec.tohoku.ac.jp

◎最新情報は、SRW 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~srw/>

主催 短距離無線通信時限研究専門委員会

●次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会主催研究会「プラズモニク・メタマテリアルの最近の進展」

日時 平成 24 年 6 月 22 日 (金) 14:00~17:05

会場 機械振興会館地下 3 階 2 号室 (港区芝公園 3-5-8. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm)

参加費 一般 4,000 円, 学生 1,000 円 (資料代含む。会場にてお支払い下さい)

交流会費 3,000 円

プログラム

1. 可視光領域のバルクメタマテリアル (仮題)

田中拓男 (理研)

2. プラズモンバイオセンサーとメタマテリアルフィルター (仮題)

納谷昌之 (富士フィルム)

3. レーザー加工による新規メタマテリアル構造の創成 (仮題)

中田芳樹 (阪大)

4. プラズモニク・カラーフィルター 井上大介 (豊田中研)

◎研究会終了後 (17:20-19:15), 交流会を予定しております。

参加費 3,000 円, 準備の都合上, 事前の参加登録をお願いします。

【参加申込及び問合せ先】

6月15日(金) までにお名前, 所属, 連絡先, 交流会の出欠を記載の上, E-mail または FAX で下記までお申し込み下さい。

幹事 天野 建 (産総研)

FAX [029] 859-2124

E-mail : takeru-amano@aist.go.jp

主催 次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会

本会発行新刊案内

プログラムによる実動作の理解

Excel で学ぶ組込みシステム要素技術

並木淳治 著

B5 判並製 定価 2,940 円(税込)

日本の産業競争力の基盤となる家電, 携帯情報端末等の機器には“組込みソフト”と呼ばれるソフトウェアが実装され, 特有のサービスを提供している。その多くは, 体系的・継続的な開発よりも“一品開発”的要素が強く, 個々の要素技術について洗練されたエレガントな理解力を得ることは難しい。そこで今回, 組込み系に必要な代表的要素技術を抽出・網羅し, 全て Excel による状態変数解析で実際の動作を理解できる教育プログラムを作成した。各要素技術に関わるパラメータのスライド変化等によって, その本質を理解し, 更に具体的な処理内容についても事例で追えるようにした。本書は, 組込み系の修士課程程度の学生を対象に書かれているが, 難易度からは学部低学年学生や, 既に職場で活躍されている技術者の方々にも受入可能な内容となっている。是非, 一度手にとり御購読頂きたい。

《内容目次》制御基礎 (一次系制御) / 高次系制御 / 最適制御 / 位相同期 / 直交原理に基づく第二の制御形 / マルコフ過程の定常解 / 直交変換 / 暗号化 / 複雑系 / 電話網設計 / ランダムアクセス / 誤り制御 / 変復調方式 / サンプル値系の折返し雑音 / 回路解析 / ラプラス多項式の時間解 / 付録

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail : kaiin@ieice.org

正員, 学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会

2012年ソサイエティ大会開催案内

期 日 2012年9月11日(火)～14日(金)

会 場 富山大学(富山市) 五福キャンパス

電子情報通信学会ソサイエティ大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDFによる原稿送信となっています。

募集期間

2012年4月27日(金)～7月4日(水) 17:00(厳守)

2012年ソサイエティ大会ホームページ

http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の交付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集PDF原稿の送信期限」・「紙面による論文原稿の送付期限」については、全て上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器はPCプロジェクターです。PCは御持参下さいませようお願いします。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録されている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込みWeb登録上のお願い

講演申込み締切日とその2～3日前は回線が大変混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演登録ができます。

講演参加費(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

講演参加費につきましては、DVD論文集(全講演収録・参加章)のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日：8月下旬)

7月下旬に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正員 : 10,000円(講演発表料+DVD)

学生員 : 3,000円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 20,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,000円(講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正員 : 11,000円(講演発表料+DVD)

学生員 : 3,500円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 22,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,500円(講演発表料+DVD)

*電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員、本会と協定を締結した海外の学会は会員扱いとなります。

[講演申込みの流れ]

(1) 論文集原稿をPDFで電子投稿する場合

学会Web上の「講演申込手順」に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込内容の確認・修正」、「講演申込内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿をPDFファイルで送信して下さい。(PDF原稿はメール添付での申込みはできません。)

(2) 論文集原稿を紙面にて投稿する場合

学会Web上の「講演申込手順」に従って申込み登録を行って下さい。正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者本人で必ずプリントアウトして保管して下さい。詳細はトップメニューにある「論文作成案内(紙面投稿用)」を御参照下さい。登録完了時点で入力項目の確認のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず、内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込内容の確認・修正」、「講演申込内容の取消要領」に従って下さい。

(3) インターネットを使用できない場合には、学会事務局までお問合せ下さい。

(4) ソサイエティ大会聴講参加・冊子講演論文集申込み案内等については、2012年7、8月号会告にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会 大会担当

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : taikai@ieice.org

情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループにつきましては、法政大学(東京)においてFIT2012を開催致します。

開催案内は下記を御覧下さい。

<http://info.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム 聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

FIT2012Web サイト：<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT（Forum on Information Technology）を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集、DVD-ROMの事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期：2012年9月4日（火）～6日（木）
会 場：法政大学小金井キャンパス（東京都小金井市梶野町3-7-2）
交 通：JR 中央線新宿駅から快速で21分、東小金井駅下車
東小金井駅から徒歩約15分、もしくは「武蔵小金井駅行」バス約5分、「法政大学」下車
※お車（自家用車）での御来場は御遠慮下さい。

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。（詳細は逐次FIT2012 Web サイトに掲載致します）

◎船井業績賞受賞記念講演

5日14:00-15:15 第1イベント会場（東館2F 講堂（体育館））
「サイバーアシストからスマートシティへ：ITによる社会のデザイン」

中島秀之（公立はこだて未来大学学長）

◎FIT 学術表彰式

5日13:00-13:50 第1イベント会場（東館2F 講堂（体育館））

◎イベント企画

- 第2イベント会場（西館B1F マルチメディアホール）
- 4日 9:30-12:00 スマートフォン実世界センシング×コンピュータグラフィックス
 - 13:00-15:00 e-サイエンス：超大規模実問題に挑戦するアルゴリズムと計算技術
 - 15:30-17:30 ビジネスで生きる機械学習技術
 - 5日 9:30-12:00 HTML5時代におけるサイバーワールドのインテグレーション
 - 15:30-17:30 高度IT資格制度「情報処理学会モデル」
 - 6日 9:30-12:00 データ活用型科学の将来展開
 - 13:00-16:00 スパース信号処理の最新線
 - 第3イベント会場（東館1F E105）
 - 4日13:00-17:30 第16回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
 - 5日 9:30-12:00 生体・感覚情報計測技術の基礎
 - 15:30-17:30 情報学研究における質的アプローチの可能性を探る
 - 6日 9:30-12:00 世界初、統一の評価基準に基づく電子透かしコンテンツ—昨今の電子透かし技術の実力や如何に！—
 - 13:00-16:00 安心なスマートフォンの未来を考える—スマートフォン/タブレットの威力とセキュリティ対策について

■聴講参加費（税込）

参加区分	事前予約（7/13まで）	当日
正 員	8,000円	10,000円
非会員	17,000円	20,000円
学 生	無料	無料

※正員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROMが含まれております。

※正員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。

正 員：電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK, KICS, KIISE, IEEE/Com. Soc., IEEE/PHO, IEEE/MTT-S, IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI）の個人会員に限ります。

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROMは付きません）。
社会人学生の方も、学生証を総合受付で提示頂ければ無料です。

■懇親会 [予定]

開催日時：9月5日（水）17:45～19:30

会 場：東館B1F 生協食堂

参加費（税込）：社会人 5,000円、学生 2,000円

■冊子講演論文集・DVD-ROM 販売価格（税込）

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円	15,000円
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊（カバー付き）、DVD-ROM

※分冊は第1～4分冊の予定

※DVD-ROMはプログラム（講演者索引付き）及び全講演論文集収録

※学生の方は、会場にてDVD-ROM 学割会場販売価格4,000円

■講演論文集の掲載分野（予定分冊構成）

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィックス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピュータグラフィックス、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録

（著者、所属、キーワードによる索引付き）

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■聴講参加事前予約・講演論文集・DVD-ROMの申込み・送金方法

申込締切：2012年7月13日（金）必着

申込方法：FIT2012 Web サイトからお申込み下さい。

受取方法：講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場受取り」または「FIT終了後郵送（10月上旬）」のいずれかを選択して下さい。

「会場受取り」にされた方には引換券をお送り致します。御来場の際は御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。

DVD-ROM（講演論文集セット付属のものは除く）は、全て事前発送（8月下旬予定）となります。

送金方法：申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。

※お支払いの指定の口座へお振込みをお願い致します。FIT会場での現金でのお支払いは一切お受け致しませんのであらかじめ御了承下さい。

送金期日：2012年10月31日（水）

■次年度のFIT2013開催

2013年9月 鳥取大学にて開催予定

■問い合わせ（FIT2012幹事学会）

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

一般社団法人電子情報通信学会大会・研究会部 FIT 担当

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : ieicefit@ieice.org

●…………… 支 部 大 会 ……………●

——平成 24 年度電気関係学会

東海支部連合大会——

講演申込締切 7月13日(金) 23:00

論文投稿締切 7月17日(火) 23:00

連合大会 Web <http://www.ieice.org/tokai/rengo2012/>

【大会の概要】

1. 期日：平成 24 年 9 月 24 日(月), 25 日(火)
2. 会場：豊橋技術科学大学(豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1)
(地図参照) <http://www.tut.ac.jp/about/access.html>
3. 特別講演：1 件, 合同企画シンポジウム：1 件, 各学会企画シンポジウム：3 件(以上全て依頼)
4. 一般講演：(公募)
5. 懇親会：平成 24 年 9 月 24 日(月)

投稿論文募集(一般講演)

主催及び共催学会に関わる一般講演論文を幅広く募集します。分量は A4 1 ページ, 通常の口頭発表のほか, ポスターセッションも開催します。投稿時にこれら発表形式を選択可能です(詳細は Web 参照)。

一般講演について

- (ア) 講演者は原則として主催または, 共催学会会員に限るが, 非会員の講演も認めます(講演参加費が異なるので, 注意すること)。また, 講演は一人 1 件に限ります。ただし, 複数の応募論文に共著者として参加することは差し支えありません。
- (イ) 最近の研究・工事計画・現場試験・新製品の紹介等で未発表のもの。ただし, 内容の類似したものが数件にわたることは認めません。実行委員会で不相当と認めた論文は, 講演を断ることがあります。また, 講演論文は, 原則として和文とするが, 英文も認めます。
- (ウ) 講演時間は 1 件当たり発表 10 分, 質問時間 2~3 分とします。プロジェクタ以外の機器が必要な場合は各自用意下さい。

参加費

- 講演者(CD-ROM あり)(会員：事前登録) 4,000 円
講演者(CD-ROM あり)(非会員：事前登録) 8,000 円
聴講者(CD-ROM あり)(会員：事前登録) 4,000 円
(会員：当日参加) 5,000 円
聴講者(CD-ROM あり)(非会員：事前登録) 8,000 円
(非会員：当日参加) 9,000 円

聴講者：学生専用(CD-ROM なし)

(会員・非会員：事前登録) 無料
(当日参加) 1,000 円

・CD-ROM ありの講演者・聴講者は, 一般・学生とで同一料金です。CD-ROM は当日受付で配布されます。

・支払いはカード・コンビニ決済を予定しています。

※学生の聴講者のみ, 特別料金(CD-ROM なし)で参加することができます。

広告募集・企業展示 プログラム及び連合大会 Web における広告を募集致します(詳細は Web を参照)。協賛会員及び広告出展社には, 会場における企業展示ブースを提供致します。

奨励賞 過去に受賞歴がなく, かつ受賞審査を希望する発表当日 35 才以下の会員で, 特に優秀と認められる講演者に贈呈します。

連合大会事務局

〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科計算理工学専攻
吉川大弘研究室内
TEL [052] 789-3167, FAX [052] 789-3166
jimkyoku@tokai-section.org
<http://www.ieice.org/tokai/rengo2012/>

主 催 電子情報通信学会, 電気学会, 情報処理学会, 照明学会, 映像情報メディア学会, 日本音響学会各東海支部, IEEE 名古屋支部

共 催 電気設備学会中部支部

——平成 24 年度(第 65 回)電気関係学会

九州支部連合大会——

期 日 平成 24 年 9 月 24 日(月), 25 日(火)

会 場 長崎大学文教キャンパス(長崎市文教町 1-14)

重要な日程

1. 講演申込(タイトルとアブストラクト)
6月18日(月)~7月17日(火) 24:00
講演費の振込期限：7月18日(水)
2. 講演論文原稿受付
6月18日(月)~8月16日(木) 24:00
3. 聴講事前申込, 追加 CD-ROM, 論文集 CD-ROM のみ事前申込
6月18日(月)~8月16日(木) 24:00
聴講費・論文集 CD-ROM 購入費の振込期限：8月17日(金)

参加費 講演：4,000 円

聴講(事前登録)

主催学会会員 3,000 円/非会員 4,000 円

学生(聴講のみ) 無料/学生(論文集付) 1,000 円

聴講(当日受付)

主催学会会員 4,000 円/非会員 6,000 円

学生(聴講のみ) 無料/学生(論文集付) 2,000 円

※学生(聴講のみ)の方も, 必ず受付が必要です。

講演者 主催学会会員に限ります(当支部所属に限られません)。Web での申込時に会員番号の入力が求められますので, 特に, 本大会で講演予定の学生については, 早めにいずれかの学会への御入会手続きを行って下さい。学会によっては, 入会申込から入会承認まで 2 か月ほどかかる場合もあります。

講演内容 最近行った研究, 計画及び工事報告, 現地試験報告, 新製品の紹介など。

企業協賛 企業・団体の皆様に大会協賛として, プログラム冊子・大会論文集 CD-ROM への広告掲載, 大会会場での展示ブースを御用意致しております。また, 一定額以上の御協賛には特典として, 活動内容・製品などについて御講演頂ける機会を設けております。詳しくは大会サイトを御覧下さい。

大会サイト <http://www.jceee-kyushu.jp/>

問合せ先 電気関係学会九州支部連合大会委員会 事務局

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-2-28 南館 8F
info2012@jceee-kyushu.jp

主 催 電気関係学会九州支部連合大会委員会（電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会、照明学会、電気設備学会、映像情報メディア学会、日本音響学会の各九州支部、IEEE Fukuoka Section）

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——関西支部——

●電気四学会関西支部専門講習会「ポスト地上デジタル放送」

昨年7月に地上波放送のデジタル化が完了し、今年はメディア技術の新たな幕開けとなる予感がしています。放送がデジタル化されたことにより、今後、通信との連携、融合がますます加速し新たなサービスや端末が登場してくるであろうと考えます。今回は、「ポスト地上デジタル放送」と題し最近注目されている次世代のサービス、技術の最新動向に触れる講習会を企画しました。

つきましては最先端を担う方々に御講演頂きますので、奮って御参加下さい。

日 時 平成24年6月22日（金）9：45～17：15

会 場 中央電気倶楽部 513号室（大阪市北区堂島浜 2-1-25、ドージマ地下センター南詰を右側に上り、右へ約50m、左側のレンガ造り建物）

講師と題目

- (1) 開講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部支部長
 - (2) IPDC (IP Data Cast) が目指すもの
中村伊知哉（慶大）
 - (3) V-LOW マルチメディア放送の実証実験について
芝 勝徳（近畿 V-LOW 実証実験協議会）
 - (4) スーパーハイビジョンの最新動向 奥井誠人（NHK）
 - (5) 次世代 STB：ハイブリッド BOX
徳竹政幸（日本ケーブルラボ）
 - (6) スマートテレビに関する技術動向
松村浩一（パナソニック）
 - (7) 次世代 UI：ジェスチャー入力（PointGrab 社）と 3D マルチタッチ入力（ZRRO 社）
後藤哲夫・森 主門（CP&C ジャパンパートナーズ）
 - (8) 閉講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部庶務幹事
- 主催学会会員（正員 10,000 円、准員・学生員 無料）
会員外（一般 15,000 円、学生 5,000 円）

定 員 80 名（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申 込 講習会題目・開催日・会員種別・氏名・連絡先（会社名・所属・郵便番号・所在地・電話番号）等を映像情報メディア学会関西支部の HP（<http://www.ite.or.jp/kansai/>）からお申込み下さい。後日、参加章と請求書を郵送します。なお、FAX、E-mail の場合は下記へお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

—— 本会・ソサイエティ・

研究専門委員会等主催・共催——

●エレクトロニクスシミュレーション講習会

「差分法による光導波路解析入門—ビーム伝搬法と有限差分時間領域法—」

委員長 橋本 修（青学大）

エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会では、以下の趣旨・講義内容で講習会を開催致します。奮って御参加下さい。

期 日 平成24年7月3日（火）13：30～17：00

会 場 青山学院大学青山キャンパス総研ビル 10階第18会議室
講 師 柴山 純（法政大）

【趣旨】 マイクロ波・ミリ波の領域に加え、光波領域においても種々のシミュレータが市販されるようになりました。中でもビーム伝搬法（BPM）は最も広範に利用されています。BPM は近似に基づく手法のため実問題への適用には注意を要しますが、近似の成り立つ範囲で適切に利用すれば極めて効率良い解析を精度良く実行できます。本講義では、使用している近似に注意しながら差分型 BPM の定式化と実行方法を優しく説明します。実問題への適用範囲・限界を解説し、種々の計算結果も示します。

光の進行方向に大きな屈折率差のある問題には有限差分時間領域（FDTD）法が好適です。近年、時間刻み幅に制限のない交互方向陰解法（ADI）や局所次元法（LOD）を利用した陰的 FDTD 法も検討されています。これらの手法において連立方程式を解くアルゴリズムは極めて簡素であり、上述した差分型 BPM のものと同様であることは意外に知られていないようです。本講義では特に LOD-FDTD 法を取り上げ、詳しい定式化を示した後に性能を評価します。プラズモンデバイス解析のための周波数依存型手法への応用も解説します。BPM、陰的 FDTD 法に関する理解を深めて頂くことを目的としますが、シミュレータを自作したい方などにも有益な内容となっています。

内 容

1. 光導波路の数値解法の特徴と使い分け
2. ビーム伝搬法（定式化、吸収境界条件、連立方程式の求解、虚軸法による固有モード解析、ビーム伝搬解析、ADI 法に基づく三次元差分型 BPM、広角 BPM、ベクトル型 BPM）
3. 有限差分時間領域（FDTD）法（陽的 FDTD 法と陰的 FDTD 法、LOD-FDTD 法の定式化、吸収境界条件、性能評価、周波数分散性媒質の取扱、周期構造の取扱、回転対称構造の取扱）

受講料 一般会員 15,000 円、一般非会員 20,000 円
学生会員 5,000 円、学生非会員 10,000 円

申込方法 研究会 HP <http://www.ieice.org/es/est/> を御覧の上、お申し込み下さい。定員に達し次第、申込を締め切らせて頂きます。

問合先 須賀良介（青学大）rsuga@ee.aoyama.ac.jp
TEL [042] 759-6298

主 催 電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティエレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会

— 本 会 が 協 賛 等 の も の —

(※は参加費割引あり)

連続セミナー 2012 「ビッグデータとスマートな社会」

期 間 平成 24 年 6 月～12 月 (全 6 回)
会 場 化学会館 (東京都千代田区)
問合先 情報処理学会事業部門
TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375
jigyo@ipsj.or.jp

センシング技術応用セミナー「エコロジー社会を支える先端技術
～スマートエネルギーとセンシング～」(※)

期 日 平成 24 年 6 月 15 日 (金)
会 場 鳥津製作所関西支社 (大阪市)
問合先 センシング技術応用研究会
TEL [0725] 51-2534, FAX [0725] 51-2597
http://tri-osaka.jp/dantai/sstj
sstj@dantai.tri-osaka.jp

第 70 回ロボット工学セミナー「ロボットの作り方 2012」(※)

期 日 平成 24 年 6 月 16 日 (土), 17 日 (日)
会 場 埼玉大学工学部 (さいたま市)
問合先 日本ロボット学会事務局 担当 水谷
TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628
soumu@rsj.or.jp

システム制御情報学会・計測自動制御学会チュートリアル講座
2012 「モデル予測制御—基礎から最新動向, 応用例まで—」(※)

期 日 平成 24 年 6 月 21 日 (木)
会 場 常翔学園大阪センター (大阪市)
問合先 システム制御情報学会 事業委員会
担当ワーキンググループ主査 平田健太郎 (奈良先端科
学技術大学院大学) TEL [0743] 72-5351
FAX [0743] 72-5359 kent@is.naist.jp

第 71 回ロボット工学セミナー「次世代アクチュエータの技術動
向と筋骨格への応用」(※)

期 日 平成 24 年 6 月 29 日 (金)
会 場 中央大学後楽園キャンパス (東京都文京区)
問合先 日本ロボット学会事務局 担当 水谷
TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628
soumu@rsj.or.jp

第 9 回日本写真学会光機能性材料セミナー「有機太陽電池の性能
向上への科学的アプローチ」(※)

期 日 平成 24 年 6 月 29 日 (金)
会 場 富士フイルム東京ミッドタウン本社 (東京都港区)
問合先 日本写真学会事務局 同セミナー係
TEL [03] 3373-0724, FAX [03] 3299-5887
http://www.spstj.org

第 133 回温度計測部会見学会「宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
相模原キャンパス宇宙科学研究所」(※)

期 日 平成 24 年 7 月 2 日 (月)
会 場 宇宙航空研究開発機構相模原キャンパス (相模原市)
問合先 計測自動制御学会 部門協議会担当
TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

日本真空学会関西支部 & 日本表面科学会関西支部合同セミナー
2012 「生物に学ぶさまざまな機能—環境に調和した自然界の知
恵—」

期 日 平成 24 年 7 月 6 日 (金)
会 場 神戸大学百年記念館 (神戸市)
問合先 大阪大学 齋藤 彰 (日本真空学会・日本表面科学会両
関西支部幹事)
TEL & FAX [06] 6879-7298
saito@prec.eng.osaka-u.ac.jp

ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2012 (SES2012)

期 日 平成 24 年 8 月 27 日 (月)～29 日 (水)
会 場 東京電機大学 (東京都足立区)
問合先 同シンポジウム実行委員会
ses2012-inq@googlegroups.com

第 14 回日本感性工学会大会・総会 (※)

期 日 平成 24 年 8 月 30 日 (木)～9 月 1 日 (土)
会 場 東京電機大学東京千住キャンパス (東京都足立区)
問合先 同大会事務局 jske14@jske.org

ヒューマンインタフェースシンポジウム 2012 (※)

期 日 平成 24 年 9 月 4 日 (火)～7 日 (金)
会 場 九州大学大橋キャンパス (福岡市)
問合先 ヒューマンインタフェース学会事務局
TEL [075] 315-8475, FAX [075] 326-1332
http://www.his.gr.jp/sympo/his2012.html

第 52 回 (2012 年度) 真空夏季大学 (※)

期 日 平成 24 年 9 月 4 日 (火)～7 日 (金)
会 場 ヤマハリゾートつま恋 (掛川市)
問合先 日本真空学会事務局 担当 大工原
TEL [03] 3431-4395, FAX [03] 3433-5371
ofc-vs@vacuum-jp.org

日本神経回路学会第 22 回全国大会 (JNNS2012)

期 日 平成 24 年 9 月 12 日 (水)～14 日 (金)
会 場 名古屋工業大学 (名古屋市)
問合先 JNNS2012 大会事務局 (名古屋工業大学岩田研究室内)
jnns2012@pern.elcom.nitech.ac.jp

第 30 回記念日本ロボット学会学術講演会 (※)

期 日 平成 24 年 9 月 17 日 (月)～20 日 (木)
会 場 札幌コンベンションセンター (札幌市)
問合先 日本ロボット学会学術講演会係
TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628
seminar@rsj.or.jp

VIEW2012 ビジョン技術の実利用ワークショップ

期 日 平成 24 年 12 月 6 日 (木), 7 日 (金)
会 場 パシフィコ横浜 (横浜市)
問合先 画像応用技術専門委員会事務局「ViEW2012」係 (アド
コム・メディア内)
TEL [03] 3367-0571 iaip@adcom-media.co.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

6th International Conference on Project Management, 2012
(ProMAC 2012)

期 日 2012年10月3日(水)~5日(金)

会 場 Hawaii Convention Center, Hawaii, USA

問合先 プロジェクトマネジメント学会

FAX [050] 3588-6935 <http://www.spm.or.jp>

<http://www.spm-hq.jp/promac/2012/>

第25回パワー半導体デバイス国際シンポジウム (ISPSD '13)

期 日 2013年5月26日(日)~30日(木)

会 場 石川県立音楽堂(金沢市)

問合先 ICS コンベンションデザイン 浦田, 田中

TEL [03] 3219-3541, FAX [03] 3219-3577

ispsd13@ics-inc.co.jp



複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

● 受賞候補者募集等 ●

——平成 24 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙——

今年度の学術奨励賞は、2012 年総合大会（岡山大学）及び、2012 年ソサイエティ大会〔基礎・境界，通信，エレクトロニクスの 3 ソサイエティになります〕（富山大学）の講演者を対象に選定致します。受賞者は、上記 2 大会における各座長，各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します。

つきましては、今回は 2012 年総合大会の講演者を対象として募集致しますので、下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方々が御推薦下さるようお願い致します。

- <被推薦者の条件>
1. 本会会員であること
 2. 2012 年総合大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演，シンポジウム講演）であること。
 3. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳未満の者であること。ただし 12 月 31 日が誕生日の者は対象とする。
 4. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること。

<推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙>

本会正員に限る。前記被推薦者の条件 1.～4. 項に該当し，適格と認められる者 1 名を推薦。下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し，電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること。

<締切期日> 平成 24 年 7 月 13 日（金）必着（以後の到着は無効となります）

..... 切 取 線

平成 24 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 (条件 2) 所属	会員番号： (条件 1)	年齢： (条件 3)
発表大会名	2012 年総合大会(岡山大学)	
(講演番号)	()	
題 名		
推 薦 理 由		
推 薦 者 氏 名	正 員 (会員番号：)	

(注) ・推薦理由は、必ず記入して下さい。
 ・御推薦の講演者の中には同姓同名の方がいらっしゃいますので、お分かりでしたら会員番号を御記入頂きますようお願い申し上げます。(氏名，会員番号等は個人情報ですのでお取扱いには御注意下さい。)

——大川情報通信基金 2012 年度——

●研究助成

助成対象分野 情報・通信分野に関する調査・研究

助成金 1 件当り 100 万円

研究期間 原則として 1 年間

●大川賞

表彰対象 情報・通信分野における研究、技術開発及び事業において、顕著な社会的貢献のあった方、原則として日本人の研究者、海外の研究者各 1 名を表彰する。

表彰内容 賞状並びに副賞（金メダル、賞金 1,000 万円）

●大川出版賞

表彰対象 情報・通信分野に関して技術の発展及び社会的啓蒙に貢献のあった優れた図書（2009 年 1 月 1 日以降に発行されたもの）、原則として数件程度を表彰。

表彰内容 著者に対して賞状並びに副賞（銀メダル、賞金 100 万円）、また、出版社に対して、賞状及び賞牌を贈呈。

応募締切 平成 24 年 7 月 13 日（金）必着

問合せ先 大川情報通信基金事務局

TEL [03] 6438-4030, FAX [03] 6438-4031

<http://www.okawa-foundation.or.jp/>

——第 29 回井上學術賞，第 29 回井上研究奨励賞，
第 5 回井上リサーチアワード——

・井上學術賞

候補者の対象 自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた本年 9 月 20 日現在で 50 歳未満の研究者。

學術賞 本賞 賞状及び金メダル 副賞 200 万円 受賞件数は 5 件以内

（注）受賞者は、原則として 1 件につき 1 名とする。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示すこと。ただし、この場合も 1 件として取り扱う。

推薦方法 所定の用紙（下記 Web からダウンロードすること）に必要事項記載の上、平成 24 年 7 月 13 日（金）までに本会事務局会員サービス部調査課宛て提出のこと。本会からの推薦候補者（2 件以内）は理事会で選考し会長名で推薦します。

・井上研究奨励賞

推薦の対象 2009 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日の過去 3 年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の自然科学の基礎的研究において、新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士の学位を取得した 35 歳未満（2012 年 9 月 20 日現在。ただし医学、歯学、獣医学の学位取得者については 37 歳未満。）の研究者。

受賞件数及び研究奨励金 受賞予定件数は 40 件、受賞者には、賞状及び銅メダル 副賞 50 万円

推薦者 原則として、博士論文の作成を指導した研究者。

提出手続 推薦者（博士論文指導者）は、所定の推薦書用紙（下記 Web からダウンロードすること）に必要事項を記入し、候補者が博士の学位を取得した大学の学長に提出願います。

受賞候補者募集等

締切 平成 24 年 9 月 20 日（木）（必着）

・井上リサーチアワード

趣旨 自然科学の基礎的研究で優れた業績をあげ、更に開拓的發展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援する目的で、研究を助成する。

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 自然科学の基礎的研究で博士の学位を取得した研究者で、学位取得後 9 年未満（平成 25 年 3 月 31 日現在）の国公私立大学並びに大学共同利用機関に所属または所属予定の研究者。ただし、出産または子の養育のために、やむを得ず研究活動を中断した場合には、その中断期間は学位取得後の年限には含めないものとする。助成金の額と期間 助成金の額は、一人当り 500 万円とし、期間は 2 年。

採択予定数 4 名以内。うち、1 名以上を女性研究者とする。

応募方法 自薦とする。

提出書類 所定の申請書（下記 Web からダウンロードすること）に必要事項を記載し、所属長の承認を得て送付のこと。

締切 平成 24 年 7 月 31 日（火）（必着）

問合せ先 井上科学振興財団

TEL [03] 3477-2738, FAX [03] 3477-2747

inoue01@inoue-zaidan.or.jp

<http://www.inoue-zaidan.or.jp/>

——2013 年～2014 年開催藤原セミナー募集——

目的 科学技術の振興に寄与することを目的として、2013 年～2014 年の間に「藤原セミナー」の開催を希望する研究者に対し、開催に必要な経費を援助する。

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 我が国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者

申請方法 開催希望者は、「藤原セミナー開催申請書」を、所属組織長を経由して当財団に提出すること。

件数 2 件以内 援助額 12,000 千円以内/件（総額 24,000 千円以内）

申請締切日 平成 24 年 7 月 31 日（火）必着

問合せ先 藤原科学財団 TEL [03] 3561-7736,

FAX [03] 3561-7860 <http://www.fujizai.or.jp>

——平成 24 年度島津賞及び研究開発助成——

・島津賞

表彰の対象：科学技術、主として科学計測及びその周辺の領域における基礎的な研究において、近年著しい成果をあげた功労者。

表彰の内容：賞状、賞牌、副賞賞金 300 万円

表彰件数：1 件

推薦の方法：当財団の指定学会からの推薦によることとし、連名は不可。推薦書は当財団所定のものに限る。平成 24 年 9 月 30 日（日）必着。

（注、なお、本会よりの推薦件数の制限はなし。応募書類を本会事務局会員サービス部調査課宛てへ 8 月 17 日（金）までに送付して下さい。）

・研究開発助成

助成の対象：科学技術，主として科学計測及びその周辺の領域における基礎的な研究。

応募の資格：原則として，国内の研究機関に所属する45歳以下の新進気鋭の日本人研究者。

助成の金額：総額 1,200万円（1件につき100万円以下）

応募の方法：当財団所定の申請書に必要事項を記入して，当財団に直接送付して下さい。

申込締切：平成24年9月30日（日）必着

問合せ先 鳥津科学技術振興財団事務局

TEL〔075〕823-3240，FAX〔075〕823-3241

<http://www.shimadzu.co.jp/SSF>

ssf@zaidan.shimadzu.co.jp

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後，事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後，数日たっても受領の連絡がない場合は，事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部

TEL〔03〕3433-6692，E-mail：shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●電気通信大学

公募人員 大学院情報システム学研究科情報システム基盤学専攻データベース学講座 助教1名（任期5年）

専門分野 データベース・データ工学（内容詳細は正式公募文書に掲載）

着任時期 平成24年10月以後できるだけ早い時期

応募締切 平成24年6月21日（木）必着

問合せ先 大森 匡，omori@is.uec.ac.jp

詳細 募集分野詳細と応募方法などは正式な公募文書を参照下さい。公募文書は<http://www.is.uec.ac.jp/>の教員公募欄に掲載中

●電気通信大学

公募人員 大学院情報理工学研究科知能機械工学専攻 助教1名

専門分野 電磁波応用計測分野：ITS（車載レーダ等），リモートセンシング，非破壊検査などにマイクロ波・ミリ波を用いるセンシング方式及び信号処理

応募締切 平成24年7月31日（火）17時必着

問合せ先 知能機械工学専攻教授 稲葉敬之

TEL〔042〕443-5158，inaba@ee.uec.ac.jp

詳細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●鹿児島工業高等専門学校

公募人員 ①情報工学科 助教1名，女性教員（助教）1名

②電気電子工学科 助教1名

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年6月29日（金）必着

問合せ先 ①情報工学科長，教授 加治佐清光

TEL〔0995〕42-9130，kajisa@kagoshima-ct.ac.jp

②電気電子工学科長，教授 楠原良人

TEL〔0995〕42-9072，y-kusuha@kagoshima-ct.ac.jp

詳細 専門分野及び応募資格等については，下記本校HP

<http://www.kagoshima-ct.ac.jp/recruit/> を参照

●岩手県立大学

公募人員 講師1名

専門分野 Webシステム，セマンティックWeb，分散データベース，分散処理，高信頼性システム等の教育研究分野

応募締切 平成24年6月30日（土）必着

問合せ先 〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字菓子152-52

岩手県立大学ソフトウェア情報学部事務室

TEL〔019〕694-2500，soft-jimu@ml.iwate-pu.jp

●東京電機大学

募集人員 准教授または教授 1名

専門分野 コンピュータネットワーク分野

応募締切 平成24年6月30日（土）必着

照会先 未来科学部情報メディア学科長 齊藤 剛

TEL〔03〕5284-5560，saitoh@im.dendai.ac.jp

詳細及び最新情報 下記URL及びJREC-INを参照下さい

<http://www.im.dendai.ac.jp>

●九州工業大学

公募人員 大学院情報工学研究院知能情報工学研究系 助教1名

専門分野 計算機工学の基礎分野（詳細は公募要領参照のこと）

担当科目 知能情報工学科における実験・演習等

応募資格 博士号取得者または取得見込みの者。当該分野の教育及び先端的研究を担える能力と熱意を有すること

任期 なし

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年7月13日（金）必着

問合せ先 瀬部 昇，sebe@ai.kyutech.ac.jp

詳細 <http://www.ai.kyutech.ac.jp/888.html>

●公立はこだて未来大学

公募人員 複雑系知能学科 教授または准教授 1名

専門分野 複雑系情報学分野（バイオインフォマティクス，最適化手法（計算論を含む），数理経済学など）

応募資格 学位（博士）を有し（取得見込みを含む），複雑系情報学分野に関する教育・研究に熱意を持っている方

着任時期 原則として，平成25年4月1日

応募締切 平成24年7月20日（金）必着

問合せ先 複雑系知能学科長 村重 淳

recruit201202@fun.ac.jp

詳細 <http://www.fun.ac.jp/recruit/>

●公立はこだて未来大学

公募人員 システム情報科学部・情報アーキテクチャ学科 教授または准教授 1名

専門分野 情報システム分野（インタラクティブデバイスの開発，情報・知識の可視化と表現など）

応募締切 平成24年7月20日（金）必着

問合せ先 情報アーキテクチャ学科長 岡本 誠

recruit201201@fun.ac.jp

詳細 <http://www.fun.ac.jp/recruit/>

●北見工業大学

公募人員 情報システム工学科 助教 1名
 専門分野 知識工学関連分野
 担当科目 プログラミング関連実験演習科目
 着任時期 平成24年10月1日以降, 平成25年4月1日までの
 できるだけ早い時期
 応募締切 平成24年7月27日(金) 当日消印有効
 問合先 情報システム工学科長 山田浩嗣
 yamada@cs.kitami-it.ac.jp
 詳細 <http://www.kitami-it.ac.jp/> 内の教員公募のページ

●鳥取大学

公募人員 情報エレクトロニクス専攻電気電子工学講座 准教授
 1名
 専門分野 半導体メモリ, 酸化物エレクトロニクス
 応募締切 平成24年7月31日(火) 必着
 問合先 情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース長
 李 仕剛
 TEL [0857] 31-5234, li@ele.tottori-u.ac.jp
 詳細 <http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>

●和歌山大学

公募人員 システム情報学センター 助教 1名
 専門分野 情報学, 情報工学
 応募資格 修士以上の学位を有する者(博士の学位を有することが望ましい). 情報科学あるいは情報システム等に関する知識を有する者
 着任時期 平成24年10月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成24年7月31日(火) 必着
 問合先 副センター長, 教授 内尾文隆
 TEL [073] 457-8075
 詳細 <http://www.center.wakayama-u.ac.jp/employ/>

●早稲田大学

公募人員 理工学術院 電気・情報生命工学科及び電気・情報生命専攻 教授または准教授 1名
 専門分野 電子・電気材料, 電子・電気物性に関連する分野
 担当講義 電磁気学及び専門に関する科目

応募資格 博士の学位を有すること. 国籍は問わない
 着任時期 平成25年4月以降できるだけ早い時期
 応募締切 平成24年8月20日(月) 必着
 問合先 電気・情報生命工学科主任 小林正和
 TEL [03] 5286-3006, office@eb.waseda.ac.jp
 詳細 http://www.eb.waseda.ac.jp/top/news/20120321_recruit.html

●神奈川工科大学

公募人員 基礎・教養教育センター 准教授 1名
 担当科目 力学, 電磁気学, 物理学実験などの物理系科目
 応募資格 博士号取得者(取得見込みを含む)
 任期 5年, ただし, 任期の更新または任期の定めのない教員への変更があり得る
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月31日(金) 必着
 問合先 基礎・教養教育センター物理系列 万代敏夫
 TEL [046] 291-3076, bandai@gen.kanagawa-it.ac.jp
 詳細 <http://www.kait.jp/recruit/>

●茨城大学

公募人員 准教授または講師 1名
 専門分野 コンピュータサイエンス全般(応用分野を含む). 具体的には, コンピュータビジョン, 画像情報処理, 知識情報処理, コンピュータグラフィックス, 数値シミュレーションなど
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月28日(金) 必着
 問合先 知能システム工学領域長, 教授 楊子江
 TEL [0294] 38-5205, yoh@mx.ibaraki.ac.jp
 詳細 <http://yoh.ise.ibaraki.ac.jp/isejobvacancy.pdf>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 8月号掲載分 平成24年6月25日(月) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので, 併せて御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



●…………… お 知 ら せ ……………●

——転勤・引越しの届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ <http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>」より御連絡下さい。 ※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail (henkou@ieice.org), FAX, 郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。

毎月1日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいますようお願い致します。

——平成 23 年度「子供の科学教室基金」

募金活動報告——

小中高生科学教室委員会

平成 23 年度の会費請求時に会員の皆様に御協力をお願い致しました『子供の科学教室基金』募金活動の平成 24 年 3 月末までの集計結果を御報告申し上げます。

平成 24 年 3 月末現在 1,481,400 円（個人会員 343 名と 4 社）。

御協力ありがとうございました。頂きました御寄付は子供の科学教室の活動に適宜活用させて頂いております。平成 23 年度は 15 回の教室を開催したところ、約 810 名の参加者がありました。定員を制限している関係で、20~30% の人には次回案内するこ

とでお断りしている次第です。

御協力頂いた方々のお名前につきましては下記ホームページに掲載しております。

<http://www.ieice.org/jpn/kagaku/kifuichiran.html>

また、活動報告につきましては <http://www.ieice.org/jpn/kagaku/houkoku.html> に掲載致しておりますので是非御覧下さい。

なお、本募金活動は平成 24 年度も継続致しますので何卒御協力下さいますようお願い致します。

——平成 24 年 6 月号及び 7 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

7 月号 [和文] 電子情報通信分野における萌芽的研究

（通信ソサイエティ）

6 月号 [英文] Towards Management for Future Networks and Services

7 月号 [和文] 若手研究者のためのフロンティア

7 月号 [英文] Future Internet Technologies against Present Crises

（エレクトロニクスソサイエティ）

6 月号 [英文] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies

7 月号 [英文] Recent Trends of Microwave Systems and Their Fundamental Technologies

Recent Progress in Active Photonic Device Technologies

（情報・システムソサイエティ）

7 月号 [英文] Machine Vision and its Applications

——各種証明，閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明，閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊（綴）ごととします。

（注）会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

●…………… 論文特集号原稿募集 ……………●

——周波数発生・制御デバイスの新展開特集号

(和文論文誌 A) 論文募集——

周波数発生・制御デバイスの新展開特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集号 (平成 25 年 6 月号) として、「周波数発生・制御デバイスの新展開」を企画しました。水晶・MEMS 発振器やアンテナ共用器、原子時計等の周波数発生・制御デバイスは、高速通信技術を支える基盤デバイスとして確固たる地位を確保しています。その一方で、より一層の性能向上や小形化・低背化等が要請されています。本特集企画では、周波数発生・制御デバイスの今後の展開を目指した新材料、新プロセス、構成法、設計法、計測法などの関連技術について、最近の進歩を分野横断的に把握し、共通の技術課題を抽出し、今後の技術開発の方向を展望したいと思います。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

周波数発生・制御デバイスに関連する様々なテーマの論文を広く募集します。以下に幾つかの例を示します。

- ・弾性表面波共振子, フィルタ
- ・バルク波共振子, フィルタ
- ・水晶振動子, フィルタ
- ・新材料, 新プロセス
- ・MEMS 共振子
- ・高安定発振器
- ・集積化発振器, フィルタ
- ・アンテナ共用器
- ・原子時計, CSAC
- ・位相雑音, ジッタ

周波数発生・制御デバイス技術は、研究の歴史が長く、様々な分野が関係する学際的な研究分野であり、本特集号により、分野間が相互に刺激し、本領域の新たな展開を期待するため、広い分野からの積極的な投稿を期待します。

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度で、最大で 4 ページとします。詳細は「和文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 9 月 5 日 (水) 厳守

4. 問合せ先

藤井 知

千葉大学産学連携・知的財産機構

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

TEL [043] 290-3994 E-mail : s_fujii@faculty.chiba-u.jp

5. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。 https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

送付先：

論文特集号原稿募集

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

FAX [03] 3433-6616

E-mail : wabun-a@ieice.org

※郵送の場合は、封筒に特集号名を朱記して下さい。

6. 特集編集委員会

委員長 橋本研也 (千葉大)

編集幹事 藤井 知 (千葉大)

編集委員 足立武彦 (横浜国大), 磯部 敦 (日立), 上田政則 (太陽誘電), 大森達也 (千葉大), 門田道雄 (村田製作所), 五箇繁善 (首都大東京), 田中秀治 (東北大), 田中雅子 (セイコーエプソン), ラメシュボカレル (九大), 渡部泰明 (首都大東京)

——先端半導体デバイスの基礎と応用小特集号

(英文論文誌 C) 論文募集——

先端半導体デバイスの基礎と応用小特集編集委員会

情報化社会の進展は、半導体集積回路・半導体デバイスの技術進歩なしには望みません。また、将来の知識基盤社会の構築にも、半導体デバイスの革新的な進歩に期待が寄せられています。微細化の限界を打破するためのシリコン ULSI デバイス技術、通信容量を格段に飛躍させる化合物半導体デバイス、新機能を創出する量子効果デバイスなど、半導体デバイスの大きな挑戦が進んでいます。最近では、化合物半導体とシリコンの融合集積化も研究が進められています。このような背景から、最先端半導体デバイスの研究動向を紹介することを目的に『先端半導体デバイスの基礎と応用』と題して小特集号 (平成 25 年 5 月号) を企画致しました。多くの方々の積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

- ・集積回路及び先端集積化技術
- ・集積回路プロセス技術
- ・高周波デバイスと回路応用
- ・パワーデバイス
- ・ワイドバンドギャップ材料とデバイス
- ・新しい材料, デバイス, 回路
- ・環境発電・蓄電技術
- ・MOSFET, バイポーラトランジスタ, 集積デバイス
- ・化合物半導体材料とデバイス応用
- ・マイクロ波/ミリ波デバイス
- ・TFT の材料・デバイス・応用
- ・量子効果デバイス, 単電子デバイス
- ・評価技術・シミュレーション技術
- ・MEMS, NEMS 技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一です。刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 4 ページ以内 (厳守) を原則とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。投稿方法は下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行っ

て下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EC] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を電子メール (推奨)、FAX、あるいは郵送にて下記まで送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。なお、電子メール利用の場合、著作権譲渡承諾書は、サイン済みの用紙をスキャンしたファイルを添付下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 8 月 25 日 (土) 必着

5. 郵送先及び問合せ先

宮崎誠一

名古屋大学大学院工学研究科電子情報システム専攻

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

TEL [052] 789-3588, FAX [052] 789-3168

E-mail: miyazaki@nuee.nagoya-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長/ゲストエディタ 遠藤哲郎 (東北大)

幹事 上田哲三 (パナソニック), 宮崎誠一 (名大)

委員 新井 学 (新日本無線), 安齋久浩 (ソニー), 井田実 (NTT), 梅田浩司 (ルネサスエレクトロニクス), 池田浩也 (静岡大), 大島知之 (ラピセミコンダクタ), 大見俊一郎 (東工大), 岡田 浩 (豊橋技科大), 尾辻泰一 (東北大), 小野行徳 (富山大), 角原由美 (NEC エナジーデバイス), 葛西誠也 (北大), 川村博史 (シャープ), 国清辰也 (ルネサスエレクトロニクス), 後藤哲也 (東北大), 佐道泰造 (九大), 鈴木寿一 (北陸先端大), 須原理彦 (首都大東京), 高橋芳浩 (日大), 田中慎一 (芝浦工大), 野口 隆 (琉球大), 野村晋太 (筑波大), 羽路伸夫 (横浜国大), 藤代博記 (東京理科大), 前澤宏一 (富山大), 松尾直人 (兵庫県立大), 松田敏弘 (富山県立大), 松永高治 (NEC), 宮本恭幸 (東工大)

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/member/nyukai.html>

——エレクトロニクス分野における

シミュレーション技術の進展特集号

(和文論文誌 C) 論文募集——

電子工学 (エレクトロニクス) は現代社会を支える根幹技術の一つであり、その重要性については議論を待つまでもありませ

ん。それを支える共通的な基盤技術としてシミュレーション技術があり、独創的なアイデアを容易に検証し、付加価値の高い成果へと効率良く結実させるためにも、シミュレーション技術に関する研究開発が必要不可欠となっています。そこで今回、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を世に広め、技術立国日本の将来に資するべく、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集号」(平成 25 年 6 月)の発行を企画致しました。対象分野は、各種エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術、理論、その高速化技術、マルチフィジックスシミュレーション技術、シミュレーション技術の産業、教育応用など全般としていきますので、皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

電子工学一般 (電磁波/光/熱/流体/物性など) のシミュレーション全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・エレクトロニクスシミュレーションの技術、理論
- ・エレクトロニクスシミュレーションの高速化技術、理論
- ・マルチフィジックス (複合) シミュレーション
- ・エレクトロニクスシミュレーションの産業、教育への応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は「和文論文誌 C 投稿のしおり」を御参照下さい。(http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokujii.html)

なお、査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 9 月 7 日 (金) 厳守

4. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿 (ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先:

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部 論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

平田晃正 名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL & FAX [052] 735-7916

E-mail: ahirata@nitech.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長 橋本 修 (青学大)

幹事 藤代博記 (東京理科大), 平田晃正 (名工大)

編集委員 大久保 寛 (首都大東京), 池田奈美子 (NTT), 須原理彦 (首都大東京), 千葉英利 (三菱電機), 陳春平 (神奈川大), 辻 寧英 (室蘭工大), 日景 隆 (北大), 藤本孝文 (長崎大)

——アナログ回路技術と

SoC 向け混載技術に関する小特集号

(英文論文誌 C) 論文募集——

アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する 小特集編集委員会

クラウドサービスの急速な進展により、IT 分野のみならず、ヘルスケア、農業等あらゆる分野において情報通信機器の進化が求められています。これらの進化をハードウェアの側面から支えている技術に、アナログ回路技術があります。多様な情報機器に用いるアナログ回路には、高度な機能・高性能を低消費電力かつ低コストに実現することが要求されており、アナログ回路技術のみならず、デジタル信号処理との協調、SoC 環境下での性能保証など、広い要素技術領域の発展が必要とされています。

そこで本小特集号(平成 25 年 6 月号)では、アナログ回路技術、ミックスドシグナル SoC への応用、あるいはヘルスケアや農業といった新しい分野への応用など、アナログ回路を取り巻く新しい諸問題について広い問題提起・議論をし、この分野における研究・開発を更に、活発に進展させて頂きたいと考えました。多くの皆様の積極的な御投稿をお願い致します。(必須ではありませんが) チップ実現・測定結果を含んだ論文を歓迎します。

1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

- ・ワイヤレス回路技術、ワイヤライン回路技術
- ・高周波回路技術
- ・広帯域回路技術
- ・光通信用回路技術
- ・低電圧・低消費電力回路技術
- ・高速・高精度 AC-DC 技術
- ・SoC 向け混載技術
- ・アナログ回路向け実装技術(電源/デジタル雑音対策、モジュール、EMC 対策、パッケージング、SiP など)
- ・パワーエレクトロニクス回路技術
- ・ミックスドシグナル応用領域(RFID、ストレージ、チューナ、車載、医療/ヘルスケア、センサ・MEMS インタフェースなど)
- ・高性能化のためのアナログ要素技術一般(高周波 ESD 保護回路、電源回路など)
- ・アナログ回路向けデバイス技術(CMOS、BiCMOS、化合物、MEMS など)
- ・半導体デバイス・モデリング技術、デバイス/回路シミュレーション技術
- ・アナログ向け DFM・テストバリエーション

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集号ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 3 ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Section (Issue)/Transactions”で [Special-EC] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送、FAX、または電子メール添付で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 10 月 5 日(金) 必着

5. 送付先及び問合せ先

古田雅則

(株)東芝研究開発センター ワイヤレスシステムラボラトリ

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町 1

TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806

E-mail: masanori.furuta@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 藤本竜一(東芝)

幹事 古田雅則(東芝)、野口宏一郎(ルネサスエレクトロニクス)

委員 青木 均(モーデック)、秋田一平(豊橋技科大)、伊藤正雄(ルネサスエレクトロニクス)、上野憲一(アナログ・デバイス)、岡田健一(東工大)、尾野孝一(ソニー)、香川景一郎(静岡大)、丘 維礼(リガク)、佐藤隆英(山梨大)、傘 昊(東京都市大)、島健(神奈川大)、杉本泰博(中大)、谷本 洋(北見工大)、東原恒夫(会津大)、中村宝宏(日立)、新津葵一(群馬大)、兵庫 明(東京理科大)、廣瀬哲也(神戸大)、榊井昇一(富士通)、武藤浩二(長崎大)、森健一(パナソニック)、森村浩季(NTT)、吉村隆治(テキサス・インスツルメンツ)

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 重要なお知らせ

招待論文の場合を除き、投稿に際しては著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けません。ととなりますので御注意下さい。

——「画像の認識・理解」特集号

(和文論文誌 D) 論文募集——

画像の認識・理解特集編集委員会

「画像の認識・理解シンポジウム」は、情報・システムソサイエティパターン認識・メディア理解研究専門委員会と情報処理学会 CVIM 研究会が主催・共催している、当該分野の中心的な国内シンポジウムです。この「画像の認識・理解」特集号の目的は、同シンポジウムで発表された優秀な研究成果を広く会員に伝えるとともに、画像認識・理解分野の将来を展望することにあります。

本特集(平成 25 年 8 月号)は、投稿論文を MIRU2012 発表論文に限定しません。画像の認識・理解に関する和文の論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。なお、MIRU2012 に

においてオーラルセッションに採択された研究発表のうち、特に優れた10件程度を選出し、通常の査読プロセスを経て採録に至った論文を「MIRU2012 推薦論文」として掲載します。

1. 対象分野

1. パターン認識基礎, 2. パターン認識応用(1): 一般物体認識, 文字・文書, 映像, 医用画像, 3. パターン認識応用(2): 人物, 顔, 動作, 生体認証・監視, 4. 幾何学的解析・最適化, 5. 光学的解析・画質改善, 6. 画像・映像解析, 7. 三次元データ処理・多視点画像処理, 8. インタラクション・VR・ロボット, その他

2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。「投稿のしおり」は下記の URL で閲覧できます。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

・下記 URL から登録を行って下さい。本特集号では電子投稿のみ受け付けます。仮登録の際に作成される投稿者チェックリスト並びに Copyright Transfer and Page Charge Agreement は、論文投稿締切日である平成 24 年 10 月 10 日(水)までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

https://review.ieice.org/regist_j.aspx

また、仮登録完了時点で「Notification of completion for Temporary Registration (by UPLOAD from web) + 仮登録番号」が申込者にメールにて送付されます。本メール内に記載してある URL にアクセスすることにより、論文原稿のアップロードが行えます。投稿締切日までに必ず原稿をアップロードして下さい。締切日までにアップロードされなかったものについては、取下げとみなす場合があります。ただし、学会事務局で投稿者チェックリスト並びにコピーライトトランスファーフォーム受領後、本登録作業を完了した場合はアップロードができなくなります。その際には学会事務局(wabun-dl@ieice.org)まで御連絡下さい。

・論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますが、あらかじめ御了承下さい。

送付先

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-dl@ieice.org

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 10 月 10 日(水) 厳守

4. 問合せ先

特集編集委員長
大町真一郎
東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05
TEL [022] 795-7087 (直), FAX [022] 795-7086
E-mail: machi@ecei.tohoku.ac.jp

5. 特集編集委員会

委員長 大町真一郎(東北大)
副委員長 池内克史(東大)
幹事 岩村雅一(阪府大), 大塚和弘(NTT), 堀田政二(東京農工大)
委員 天野敏之(山形大), 井手一郎(名大), 大西正輝(産総研), 大山航(三重大), 亀田能成(筑波大), 木村昭悟(NTT), 佐川立昌(産総研), 佐藤智和(奈良先端大), 長原一(九大), 新田直子(阪大), 延原章平(京大), 原田達也(東大), 藤木淳(産総研), 山下隆義(オムロン)

——リコンフィギャラブルシステム小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

リコンフィギャラブルシステム小特集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2013 年 8 月号において、リコンフィギャラブルシステム小特集 (Special Section on Reconfigurable Systems) を企画しています。リコンフィギャラブルシステムに関連する幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集します。奮って御投稿下さい。

情報通信のデジタル化の進展に伴い、柔軟かつ低消費エネルギーな高性能計算システムへの要望がますます高まっており、その実現手段としてリコンフィギャラブルシステムが注目されています。小規模単純な論理を簡便に実現する手段であった当初のプログラマブル論理素子 (PLD) や FPGA は、いまや複雑高度なシステムオンチップに進化し、また、動的再構成といった革新的な能力も獲得しています。更に、従来のプログラマブル論理の概念を打ち破る様々なリコンフィギャラブルアーキテクチャが提案されています。性能、柔軟性、消費エネルギー、信頼性などの観点から、更なる進化が求められています。それらデバイス上で計算を行う回路の設計に際して、従来のソフトウェア用コンパイラや回路設計ツールのための技術では動的再構成などの新しい概念に対応することはできず、そのための設計技術の研究開発も不可欠です。実利用と普及に向けて、実問題への適用事例を積み重ね知見を共有して更なる発展を図ることも重要な課題の一つです。本小特集号は、それらリコンフィギャラブルシステムに関する最新の研究開発を紹介することを目的とします。

1. 対象分野

以下に挙げる分野を含めて、またこれらに限らず、リコンフィギャラブルシステムに関連する論文を幅広く募集します。

- ・リコンフィギャラブルシステム, プロセッサ, アーキテクチャ, デバイス
- ・FPGA, PLD
- ・動的再構成可能システム, 組込みリコンフィギャラブルシステム
- ・仮想ハードウェア, 進化型ハードウェア, 適応的ハードウェア
- ・リコンフィギャラブルシステムのためのデバイス技術, 回路技術
- ・低消費エネルギー, 非同期, 高信頼リコンフィギャラブルシステム
- ・リコンフィギャラブルシステム向けシステムソフトウェア
- ・再構成技術
- ・リコンフィギャラブルシステム向け設計技術, 検証技術, 運用技術
- ・リコンフィギャラブル技術の応用, 設計事例, 高性能計算, プロトタイピング

2. 投稿要領

投稿の締め切りは 2012 年 11 月 1 日(木) 23 時 59 分(日本標準時間)です。

投稿に関する規定詳細は“The Information for Authors”(http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)を御確認下さい。標準的な原稿ページ数は、一般論文で 8 ページ、レターで 2 ページです。

投稿論文の提出は本会の Web サイト (<https://review.ieice.org>)

org/regist_e.aspx) から行って下さい。電子メールや郵便での提出は受付致しません。提出に際して、“Type of Issue (Section)/Transactions” のリストから “[Special-ED] Reconfigurable Systems” を選んで下さい。

投稿後一週間以内に “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” と “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” を編集幹事（下記「問合せ先」参照）まで電子メール添付、FAX,あるいは郵送のいずれかの方法で送って下さい。

3. 注意事項

論文が採録となった場合、掲載別刷代をお支払い頂きます。

投稿に際し、著者のうち少なくとも1名は、本会会員でなければなりません。入会の案内は <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

4. 編集委員会

委員長 天野英晴（慶大）

幹事 佐野健太郎（東北大）、長名保範（琉球大）

委員 弘中哲夫（広島市大）、堀 洋平（産総研）、市川周一（豊橋技科大）、飯田全広（熊本大）、井口 寧（北陸先端大）、泉 知論（立命館大）、梶原信樹（ルネサスエレクトロニクス）、京 昭倫（ルネサスエレクトロニクス）、丸山 勉（筑波大）、密山幸男（高知工科大）、宮本直人（東北大）、名古屋 彰（岡山大）、中原啓貴（鹿児島大）、柴田裕一郎（長崎大）、渡邊 実（静岡大）、山田 裕（東芝）

5. 問合せ先及び送付先

幹事 佐野健太郎

東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01

TEL & FAX [(022) 795-4541]

E-mail: kentah@caero.mech.tohoku.ac.jp

本会発行新刊案内

光波を深く理解するための足がかり

光波工学の基礎

井筒雅之 著

A5 判上製 定価 4,095 円(税込)

光エレクトロニクス、フォトリソグラフィをはじめ種々の光技術は、今や社会を支える上でなくてはならない基盤技術である。そして光技術の根幹の一つが光波工学である。様々な光デバイスやシステムの動作原理を理解し、光波利用の新しい着想を得たり、技術分野を切り開いていく上で、光波が電磁波としてどのように振る舞うのかを正しく把握しておくことが、極めて重要である。

本書ではその基礎として、光波を電磁波として捉え、マクスウェルの方程式を土台に、平面波から光波モードの概念導入までをまとめている。読者には、電気系の大学卒業程度の知識を前提とし、大学院学生、あるいは、技術分野で活躍する社会人が、これらの基礎を確かめる際に役立てばと願っている。

《内容目次》電磁波としての光波／平面波の反射と透過／多層構造における反射と透過／フーリエ解析／応答とスペクトル／光波と媒質／複屈折／回折／ビーム波／光導波現象、導波モード／放射モード、その他のモード／種々の光導波路

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会

IEICE Electronics Express 投稿ご案内

IEICE Electronics Express 編集委員会

**完全ペーパーレスの査読つき英文論文誌で
あなたの素晴らしい研究成果を
すばやく公開しませんか？**

IEICE Electronics Express (ELEX) は、2004年4月に創刊した web を用いたペーパーレス英文論文誌です。論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2012年4月からは随時発行を開始致しました。エレクトロニクス分野の最新の研究成果の優先権確保や、海外も含めての情報発信のために是非 ELEX への投稿をご検討下さい。

ELEX の特徴

1. 投稿，出版，閲覧ともに，すべてオンライン上で処理。
2. 投稿から論文掲載まで平均 65 日（2011 年度実績），最短 10 日。
3. カラー画像，マルチメディアファイル（動画）に対応。
4. IEEE Xplore, Scitation, ScienceDirect といった海外の様々な電子ジャーナルサイト上に掲載されている論文と相互にリンク。
5. Science Citation Index Expanded (SCIE) にも収録。Impact Factor も取得しています。

詳細は ELEX ホームページ <http://www.elex.ieice.org> をご覧下さい。
連絡先： elex@ieice.org（編集出版部 ELEX 担当）